資料3

旭川･紋別自動車道　（遠軽（えんがる）～上湧別（かみゆうべつ））

第２回　説明資料

令和２年７月１５日

国土交通省 北海道開発局

目　次

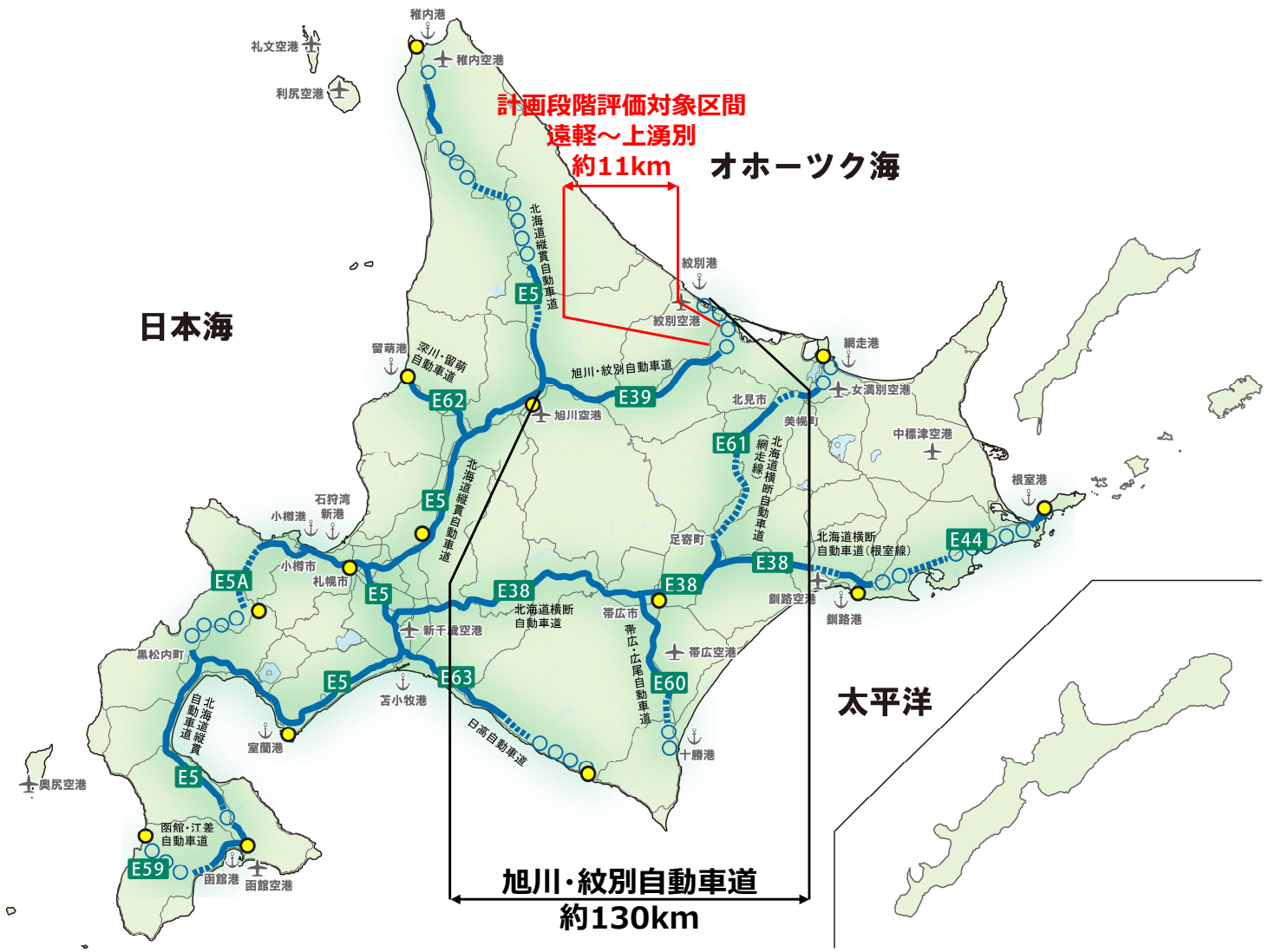
1.計画段階評価の検討の流れ
2.第1回地域意見聴取結果
3.地域意見を踏まえた政策目標
4.路線の整備方針（案）
5.第2回地域意見聴取方法

1.計画段階評価の検討の流れ

1-1）北海道の高規格幹線道路網

○旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路で、遠軽～上湧別間はその一部区間。
○当該区間は、調査中区間である遠軽町～紋別市間のうち、遠軽町・湧別町に位置する延長約11kmの区間。

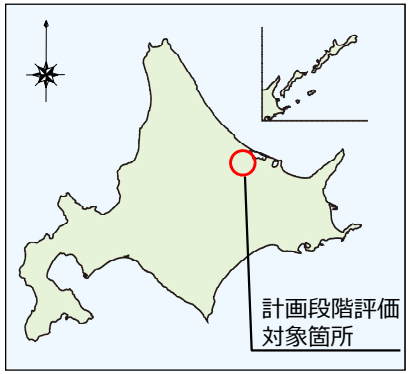
凡 例	
開通区間	■■■
事業中区間	■■■■
調査中区間	○○○
総合振興局 振興局	●



1-2）旭川･紋別自動車道の進捗

○旭川･紋別自動車道は、比布JCT～遠軽IC間が開通済み（遠軽ICは令和元年12月21日に開通）。

■位置図



凡 例	
開 通 区 間	━━
事業中区間	■■■■
調査中区間	○○○

資料：人口は平成27年国勢調査（総務省）、面積は平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）

1-3）計画段階評価手続きの進め方（案）

○令和2年2月17日から約4週間、地域意見聴取を実施。
○本委員会は地域意見聴取を踏まえた政策目標の設定および、路線の整備方針等について議論。

【令和元年12月11日】

北海道 地方小委員会

【審議内容】
■計画段階評価手続きの進め方

■地域・道路の現状と課題

■地域意見聴取方法

【令和2年2月17日～令和2年3月13日】

地域意見聴取（第1回）

○地域・道路の課題

◆意見聴取方法
<ヒアリング>
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
<アンケート>
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

今　回

北海道 地方小委員会

【審議内容】
■地域意見聴取の結果

■地域意見を踏まえた路線の政策目標

■地域意見を踏まえた路線の整備方針

■比較ルート案（複数案）

■地域意見聴取方法

地域意見聴取（第2回）

○路線の整備方針

◆意見聴取方法(案)
<ヒアリング>
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
<アンケート>
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

北海道 地方小委員会

【審議内容】
■地域意見聴取の結果

■対応方針（案）の検討

対応方針の決定（概略ルート・構造等）

※各段階で随時自治体と調整

北海道地方小委員会

1-4）前回委員会での主な意見と対応

■第1回計画段階評価（第22回北海道地方小委員会）の概要

実施日
令和元年12月11日
議事内容
○地域の概況　○地域の状況と課題　○道路の状況と課題
○課題の整理　○意見聴取方法

■主な意見と対応状況

主な意見	対応	資料
• 札幌発着で花回遊ルートを日帰り周遊している外国人観光客もいるため関係団体へのヒアリングでは外国人観光ルート等も把握できると良い。	• 広域観光を担う北海道観光振興機構、オホーツク観光連盟にヒアリング調査を実施。 • 札幌～遠紋地域への日帰り旅行や、冬期における札幌～オホーツク（流氷観光）～阿寒等の外国人観光ルートについて把握。	資料3：P21 参考資料3：P47
• 旭川・紋別自動車道はオホーツク圏域のみならず、道東地域全体にとっても重要な道路ネットワークであり、広域的な利用についても把握できるよう意見聴取時に検討すべき。	• オホーツク総合振興局、北海道トラック協会、北海道バス協会、バス事業者北海道観光振興機構、オホーツク観光連盟等、広域に動向を把握している組織や団体にヒアリング調査を実施。 • 物流や観光において、旭川・紋別自動車道の広域的な利用を把握。	資料3：P19、P21 参考資料3：P47
• 計画段階評価の対象区間は約11kmと短いが、道路ネットワークとして考えた場合、冬期における吹雪等、大きな課題があり、重要な区間。災害時の課題は、洪水浸水だけでなく、吹雪の観点も追加すべき。	• 対象区間では、吹雪による視程障害が原因で通行止めが発生している区間が存在するため、課題に吹雪を追加。また、冬期気象調査を実施し実態を把握。 • 地域意見聴取時に、洪水浸水に加え暴風雪災害も課題として提示。	参考資料3：P16、33～34、36～37、50～53
• 道路ネットワークの延伸により、都市間バスの便数が増えたり、都市間バスと路線バスの接続が図られたりする等、地域の交通体系が変化することも考えられるため、地域意見聴取ではそのような視点も考慮すべき。	• 沿線自治体に加え、バス事業者にヒアリング調査を実施。 • 道路ネットワークの延伸により、都市間バスのルート変更による利用者ニーズが変化すれば、コミュニティバスのダイヤ変更や増便の検討等を行う意向について把握。	資料3：P21 参考資料3：P47
• 地域の課題解決という視点だけでなく、地域の目指す将来像を具体化できるよう意見聴取を進めるべき。	• ヒアリング調査の際、地域が目指す将来像についても把握。	資料3：P22 参考資料3：P55～57
• P17（第1回説明資料）のホタテは夏期輸送がピーク、P47（第1回説明資料）の年間を通じた物流の安定輸送と噛み合わないと思われる。	• アンケート調査の記載を「繁忙期」に変更し調査を実施。	参考資料3：P36～37、50

2.第1回地域意見聴取結果

2-1）第1回地域意見聴取の概要

○第1回地域意見聴取は、住民・道路利用者・観光客へのアンケート調査、および沿線自治体・関係団体へのヒアリング調査を実施。

■地域意見聴取期間　令和2年2月17日（月）から令和2年3月13日（金）

■地域意見聴取の対象

アンケート調査			
住民・道路利用者	配布	地域指定郵便により全戸配布	紋別市　：約11,200世帯 佐呂間町：約　2,100世帯 遠軽町　：約　9,400世帯 湧別町　：約　3,800世帯 合計　　：約26,500世帯
	留置き	市役所、町役場および道の駅に調査票を常設、郵送または投函箱による回収	合計　　：11箇所
	WEB	北海道開発局網走開発建設部のホームページに開設	広く意見を聴取
	観光客	観光施設等（海洋交流館、道の駅かみゆうべつ温泉チューリップの湯）で面談アンケート	合計　　：2箇所

ヒアリング調査			
自治体及び団体代表者	沿線自治体等	オホーツク総合振興局、 紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町	合計　　：5団体
	関係団体	商工会議所（2箇所）、商工会議所女性部（1箇所） 商工会（3箇所）、商工会女性部（2箇所） 農業協同組合（4箇所）、農業協同組合女性部（4箇所） 漁業協同組合（3箇所）、漁業協同組合女性部（2箇所） 森林組合（3箇所） 北海道トラック協会、北見地区トラック協会（2箇所） 北海道バス協会、バス事業者（2箇所） 北海道観光振興機構、オホーツク観光連盟（2箇所） 消防本部（2箇所）、病院（2箇所）	合計　　：34団体

■地域意見聴取対象地域

*海洋交流館は、観光客への面談アンケート調査のみ実施

2-2）第1回地域意見聴取の実施状況（アンケート調査）

○地域住民・道路利用者・観光客に対して、遠紋地域の将来を見据えた地域の課題と遠軽～上湧別間に必要な道路機能について、アンケート調査を実施。

■意見聴取内容

回答者属性：住所、性別、年齢、職業、自動車運転頻度、遠軽～上湧別間の利用頻度・利用目的
問1：遠紋地域の将来を見据えた地域課題について
問2：国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路機能について
問3：その他、遠軽～上湧別間についての意見・要望について（自由意見）

■配布形式調査票

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）における

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）に関するアンケート

回答は返信用はがきに記入し、令和２年３月１３日（金）までに、郵便ポストに投函して下さい。

問1 遠紋地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？

次のA～Eについて、「そう思う」～「そう思わない」の５段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 農林水産物の輸送に時間がかかる。					
B 旭川市等の宿泊拠点から観光地や観光地間の移動に時間がかかる。					
C 北見市・遠軽町の鉄道病院への搬送に時間がかかる。					
D 長距離物流トラックが遠軽市街地を通過することが多く、事故の危険性が高い。					
E 洪水湖水時や暴風雪発生時に、遠軽市街地が孤立したり、国道が通行できなくなるかもしれない。					

回答は返信用はがきに、記入願います

上記A～E以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

回答は返信用はがきに、記入願います

問2 国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路はどのような道路だと思いますか？

次のA～Eについて、「そう思う」～「そう思わない」の５段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
A 農林水産物の輸送時間を短縮できる道路。					
B 旭川市等の宿泊拠点から観光地や観光地間を速くスムーズに移動可能な道路。					
C 北見市・遠軽町の救急病院へ速くスムーズに搬送可能な道路。					
D 事故が少なく安心して走れる道路。					
E 洪水湖水時や暴風雪発生時にも機能する道路。					

回答は返信用はがきに、記入願います

上記A～Eに以外で、あなたが必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

回答は返信用はがきに、記入願います

問3 その他、国道242号遠軽～上湧別間について、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信用はがきに、記入願います

■WEB（網走開発建設部HP）

■自治体HP

遠軽町ＨＰ

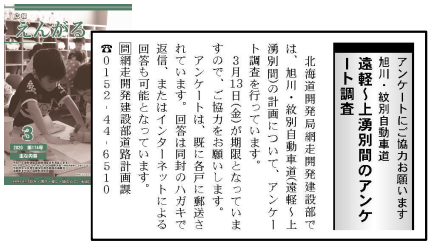
湧別町ＨＰ

■留置き状況

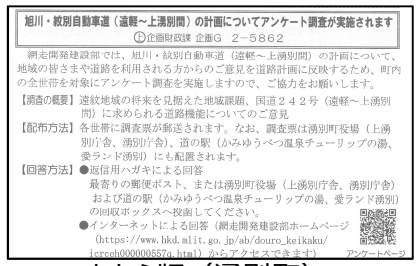
紋別市役所

道の駅サロマ湖

■広報誌



広報紙（遠軽町）


旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）の計画についてアンケート調査が実施されます
㊐企画財政課 企画G 2-5862
網走開発建設部では、旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別間）の計画について、地域の皆さまや道路を利用される方からのご意見を道路計画に反映するため、町内の全世帯を対象にアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いします。
【調査の概要】遠紋地域の将来を見据えた地域課題、国道２４２号（遠軽～上湧別間）に求められる道路機能についてのご意見
【配布方法】各世帯に調査票が郵送されます。なお、調査票は湧別町役場（上湧別庁舎、湧別庁舎）、道の駅（かみゆうべつ温泉チューリップの湯、愛ランド湧別）にも配置されます。
【回答方法】●返信用ハガキによる回答
最寄りの郵便ポスト、または湧別町役場（上湧別庁舎、湧別庁舎）および道の駅（かみゆうべつ温泉チューリップの湯、愛ランド湧別）の回収ボックスへ投函してください。
●インターネットによる回答（網走開発建設部ホームページ（https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/douro_keikaku/jerzeh0000005870.html）からアクセスできます）
アンケートページ
かわら版（湧別町）

■観光客調査実施状況

海洋交流館

道の駅かみゆうべつ温泉チューリップの湯

2-3）第1回地域意見聴取の実施状況（ヒアリング調査）

○沿線自治体・関係団体に対して、遠紋地域の将来を見据えた地域の課題と遠軽～上湧別間に必要な道路機能について、ヒアリング調査を実施。

■意見聴取内容

問1：遠紋地域の将来を見据えた地域課題について
問2：国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路機能について（理由、課題の実態等）
問3：その他、遠軽～上湧別間についての意見・要望等について

■実施状況

調査対象			実施数
沿線自治体等			5箇所
関係団体	産業団体	商工会等	8箇所
		農林水産業関連	16箇所
		物流関連	2箇所
		バス・観光関連	4箇所
	医療・消防	病院	2箇所
		消防	2箇所
合計			39箇所

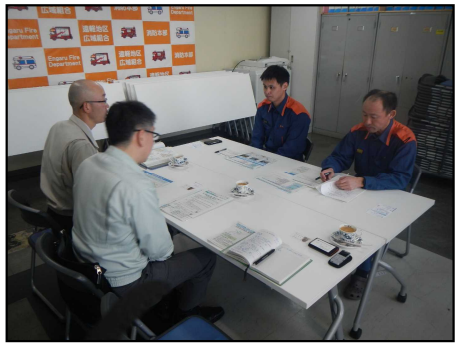
【沿線自治体】

【商工会】

【農業協同組合】

【漁業協同組合】

【バス協会】


【消防本部】

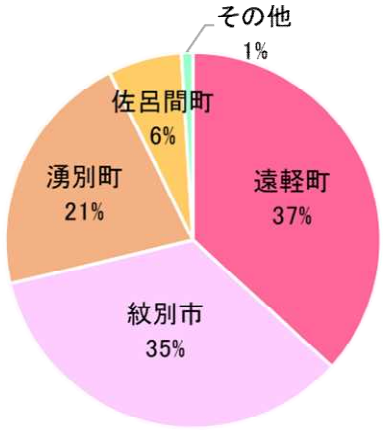
2-4）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（回収状況・居住地）

○全回収数は6,452人で、配布形式が5,588人、留置きが372人、WEBで277人、観光客の215人が回答。
○回答者の居住地は、沿線自治体95%、その他のオホーツク管内市町村、道内・道外が5%。

■調査票回収状況

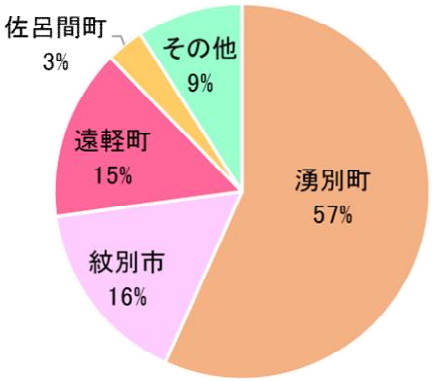
調査形式	配布数	回収数	回収率
配布（沿線自治体）	26,500	5,588	21%
留置き（道の駅等）	—	372	—
WEB	—	277	—
観光客	—	215	—
合計		6,452	

■居住地（配布）



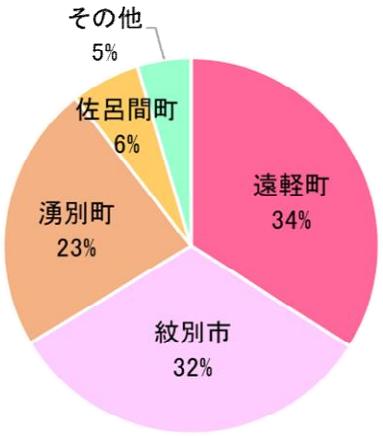
（配布）
総回答者数　N=5,588

■居住地（留置き）



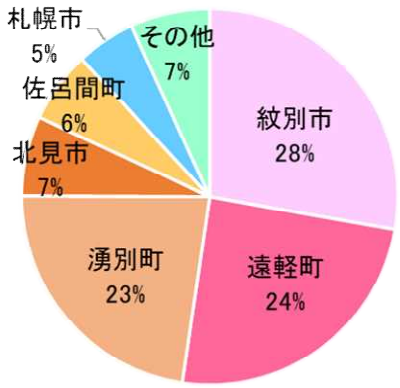
（留置き）
総回答者数　N=372

■回答者居住地



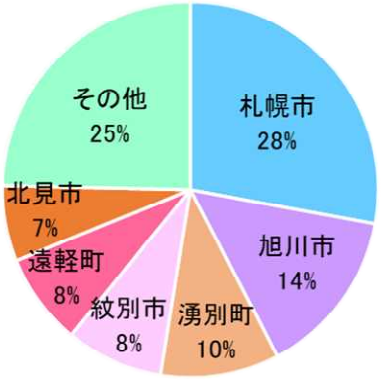
総回答者数　N=6,452

■居住地（WEB）



（WEB）
総回答者数　N=277

■居住地（観光客）

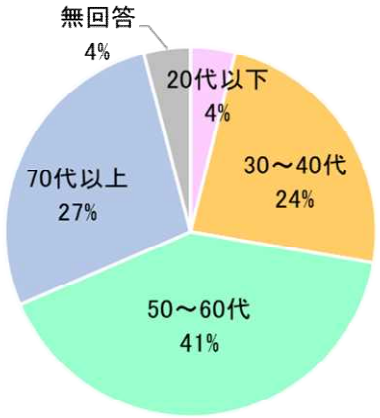


（観光客）
総回答者数　N=215

2-5）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（回答者属性）

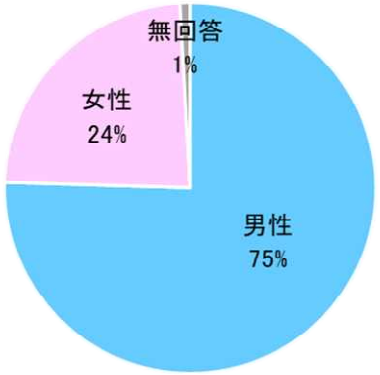
○年齢構成は50代以上が約7割を占め、性別では男性が約8割と高くなっており、若年層や女性からの回答割合が低い状況。
○職業については、会社員が約3割と最も多く、次いで70代以上と想定される無職が約26%、公務員が約13%。

■年齢



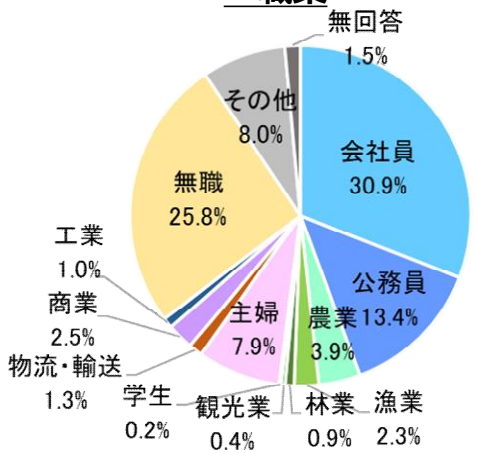
総回答者数　N=6,452

■性別



総回答者数　N=6,452

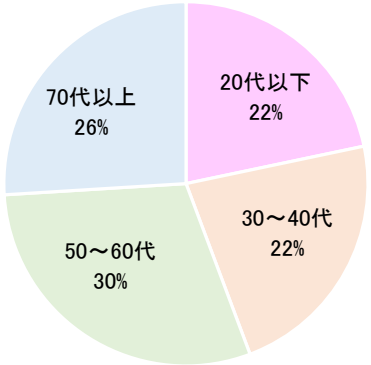
■職業



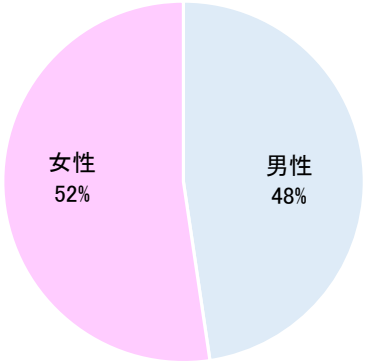
総回答者数　N=6,452

【参考】沿線自治体（紋別市・佐呂間町・遠軽町・湧別町）の統計データ

【年齢】



【性別】

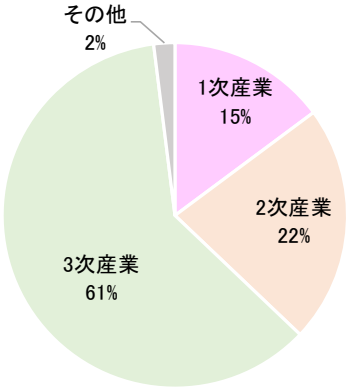


【就業率】

	就業者数	就業率
紋別市	11,270	55%
佐呂間町	2,767	58%
遠軽町	9,676	52%
湧別町	4,775	58%
合計	28,488	55%

※就業率＝15歳以上の人口に占める就業者の割合

【産業別就業割合】



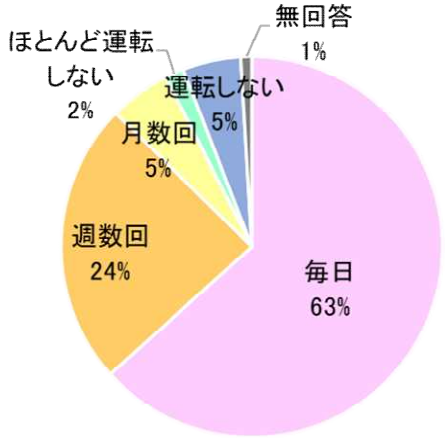
資料：平成27年国勢調査

2-6）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（利用頻度等）

○自動車の運転頻度は、回答者の約6割が毎日運転と回答。
○遠軽～上湧別間の利用頻度は、毎日～月数回の高頻度利用者が約7割を占めている。
○遠軽～上湧別間の利用目的は、観光･レジャー、家事･買物、通院、仕事（営業･運送等）の順で多くなっている。

■自動車を運転する頻度

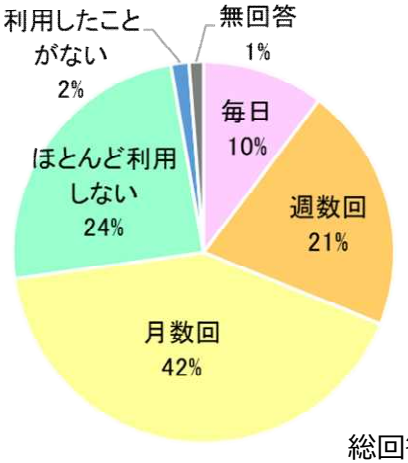
質問：自動車を運転する頻度を教えてください（単数回答）



総回答者数　N=6,452

■国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度

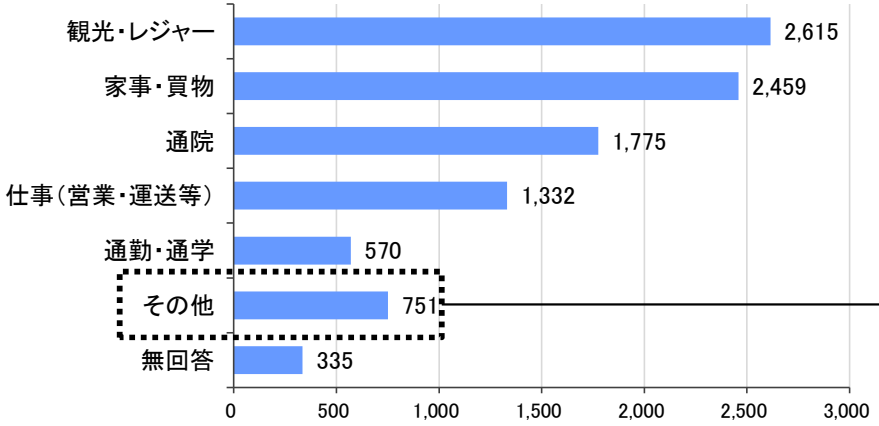
質問：国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度を教えてください（単数回答）



総回答者数　N=6,452

■遠軽～上湧別間の利用目的

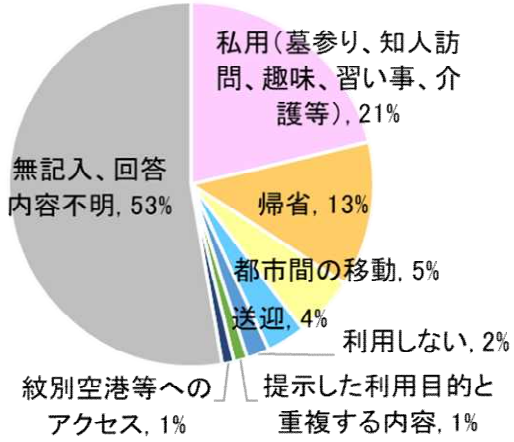
質問：遠軽～上湧別間の主な利用目的を教えてください（複数回答）



総回答者数　N=6,452

その他751票の内訳

■遠軽～上湧別間の利用目的（その他の項目の回答内容）

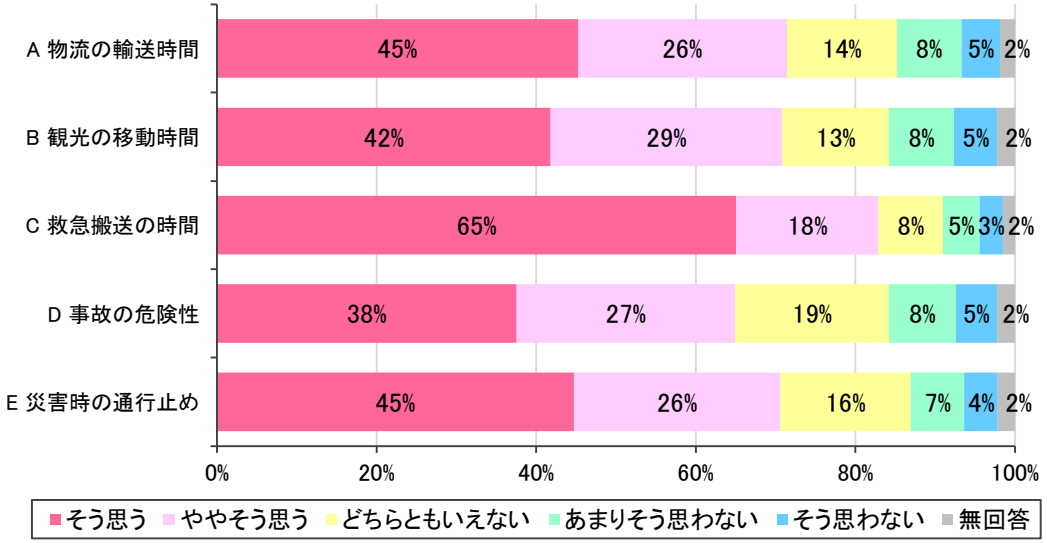


総回答者数　N=751

2-7）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（将来を見据えた地域の課題）

○遠紋地域の将来を見据えた地域の課題については、各課題に対し、約7～8割が課題と感じている。
○特に、「救急搬送の時間」について課題と感じる意見が多い。

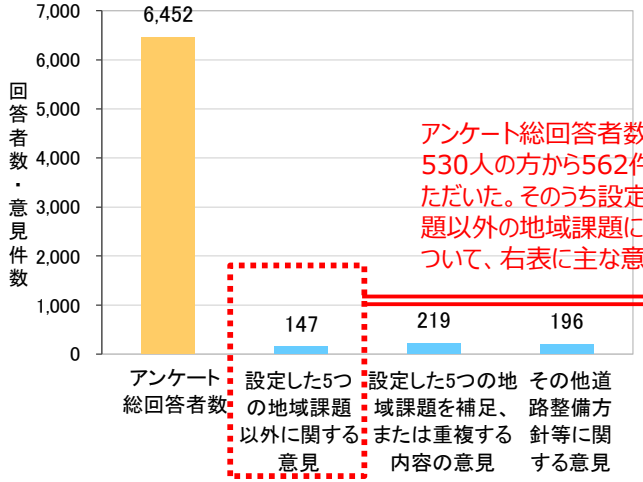
■将来を見据えた地域の課題について



質問1-1：遠紋地域の将来を見据えた地域の課題について
以下のA～Eの項目について「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください（単数回答）
A　物流の輸送時間
B　観光の移動時間
C　救急搬送の時間
D　事故の危険性
E　災害時の通行止め

総回答者数　N=6,452

■その他の課題



アンケート総回答者数6,452人のうち、530人の方から562件の自由意見をいただいた。そのうち設定した5つの地域課題以外の地域課題に関わる147件について、右表に主な意見を記載。

自由意見回答者数　N=530、　総意見件数　N=562

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、分類回答者は重複している。

質問1-2：質問1-1以外の選択肢で、あなたが課題だと思うことがあればご自由にお書きください。（自由記述）

分類	主な意見
安全性・走行性【N=28】	5月のチューリップフェア時の遠軽市街の渋滞、冬季に地吹雪が発生している郊外部や動物の飛び出しで事故の危険を感じる。
防災【N=23】	冬期運転中に郊外部でホワイトアウトになり危険を感じる。
利便性【N=35】	救急搬送以外の通院治療の時間短縮、買物通学等の移動時間短縮が必要。
生産空間維持【N=47】	人手不足のため、物流体制・救急搬送体制を改善して欲しい。
その他（維持管理等）【N=14】	遠軽市街地は、冬は雪で道幅が狭くて渋滞する。

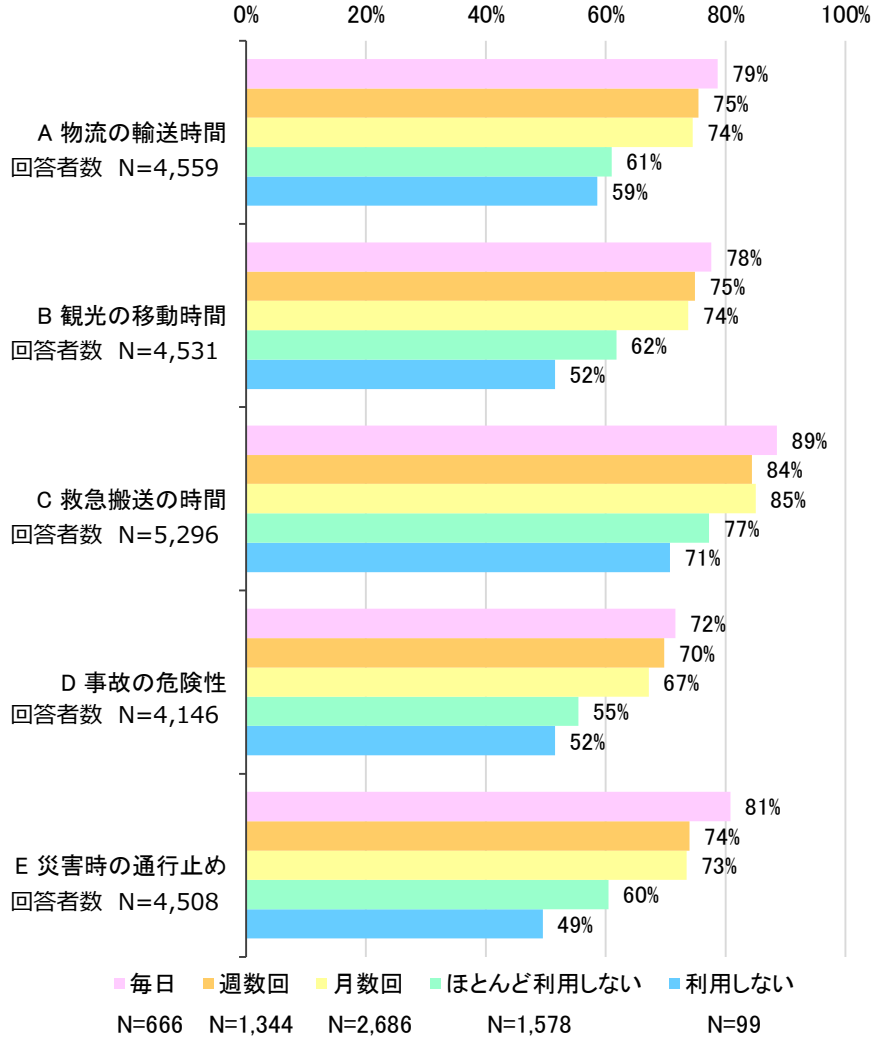
※主な意見の掲載件数は、安全性・走行性、防災、利便性、生産空間維持、その他の各分類における意見数の1%（1件以下切り上げ）を掲載

2-8）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（利用頻度別地域課題）

○遠軽～上湧別間の地域課題を利用頻度別にみると、利用頻度が高い回答者の賛同意見割合が高い状況。
○遠軽～上湧別間の高頻度利用者（毎日・週数回・月数回）のうち居住地別にみると、沿線自治体よりも、トリップ長がより長いと思われる利用者が、各地域課題について賛同割合が多い。

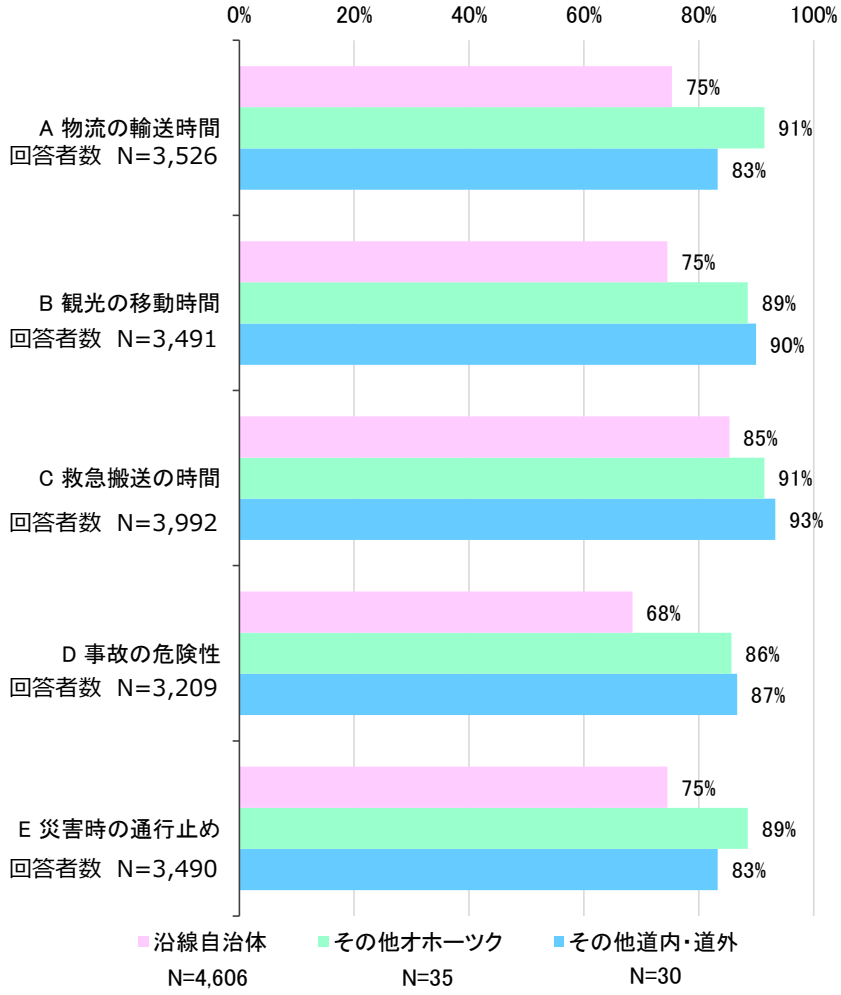
■遠軽～上湧別間利用頻度別の賛同意見割合

（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合）



■遠軽～上湧別間高頻度利用者（毎日・週数回・月数回）における居住地別の賛同意見割合

（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合）

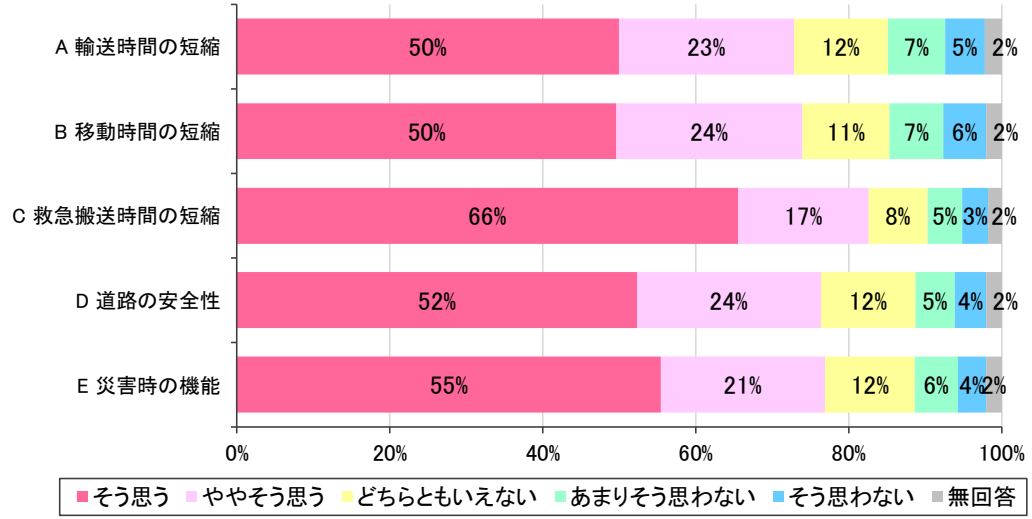


高頻度利用者回答数　N=4,671

2-9）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（遠軽～上湧別間に必要な道路機能）

○遠軽～上湧別間に必要な道路機能については、各機能に対し約7～8割が必要性を感じている。
○特に、「救急搬送時間の短縮」や「災害時の機能」について必要と感じる意見が多い。

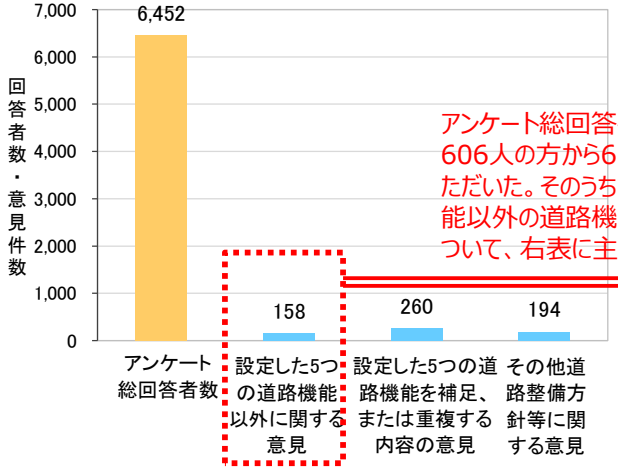
■遠軽～上湧別間に必要な道路機能について



質問2-1：遠軽～上湧別間に必要な道路機能について
以下のA~Eの項目について「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください（単数回答）
A　輸送時間の短縮
B　移動時間の短縮
C　救急搬送時間の短縮
D　道路の安全性
E　災害時の機能

総回答者数　N=6,452

■その他の道路に求められる機能



アンケート総回答者数6,452人のうち、606人の方から612件の自由意見をいただいた。そのうち設定した5つの道路機能以外の道路機能に関わる158件について、右表に主な意見を記載。

自由意見回答者数　N=606、　総意見件数　N=612
※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、分類回答者は重複している。

質問2-2：質問2-1以外の選択肢で、あなたが必要だと思うことがあればご自由にお書きください。（自由記述）

分類	主な意見
安全性・走行性【N=38】	自動車道と生活道路は区別して欲しい。また郊外部は、吹雪時、畑からの雪でホワイトアウトになるので冬道の安全が必要。
防災【N=25】	冬の雪害による孤立を回避する道路整備が必要。
利便性【N=34】	トラック、救急車などがスムーズに通過できる道路が必要。
まちづくり【N=22】	地域に人や物が立ち寄れるような道路を希望。
その他（維持管理等）【N=39】	遠軽は積雪が多いので除雪をしっかりして欲しい。

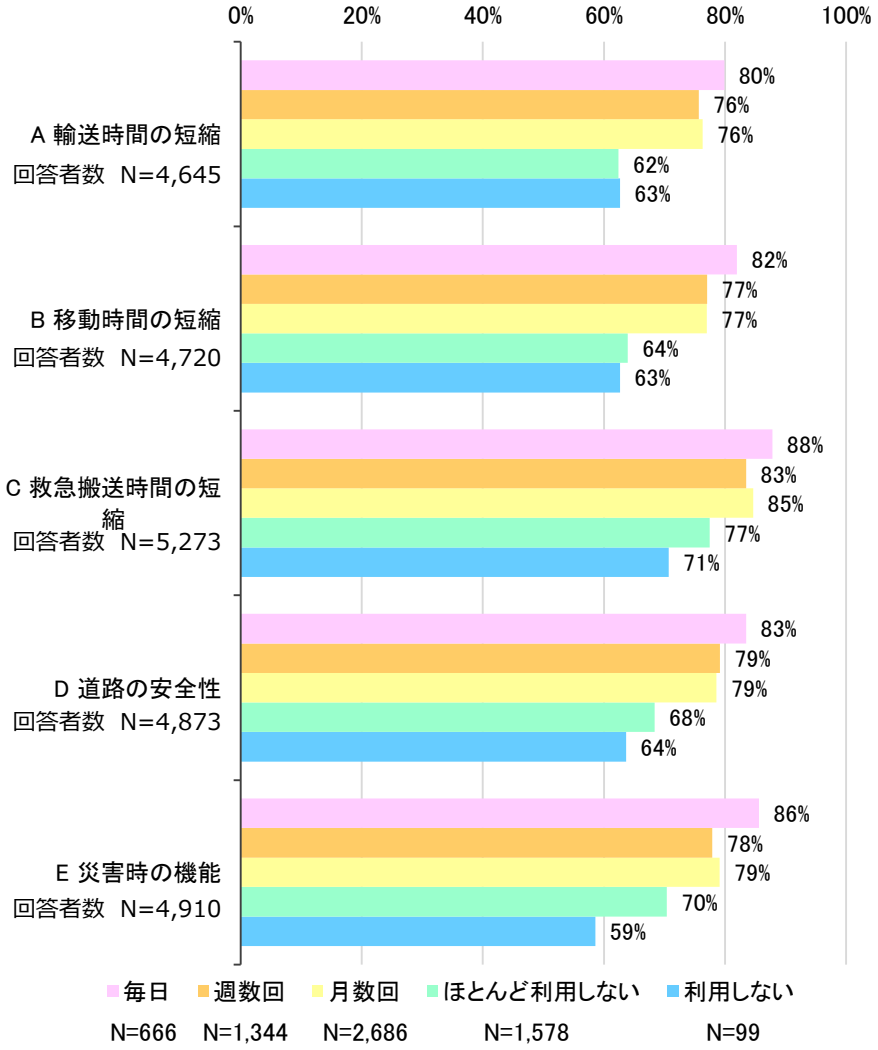
※主な意見の掲載件数は、安全性・走行性、防災、利便性、まちづくり、その他の各分類における意見数の1%（1件以下切り上げ）を掲載

2-10）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（利用頻度別道路機能）

○遠軽～上湧別間の道路機能を利用頻度別にみると、利用頻度が高い回答者の賛同意見割合が高い状況。
○遠軽～上湧別間の高頻度利用者（毎日・週数回・月数回）のうち居住地別にみると、沿線自治体よりも、トリップ長がより長いと思われる利用者が、各道路機能について賛同割合が多い。

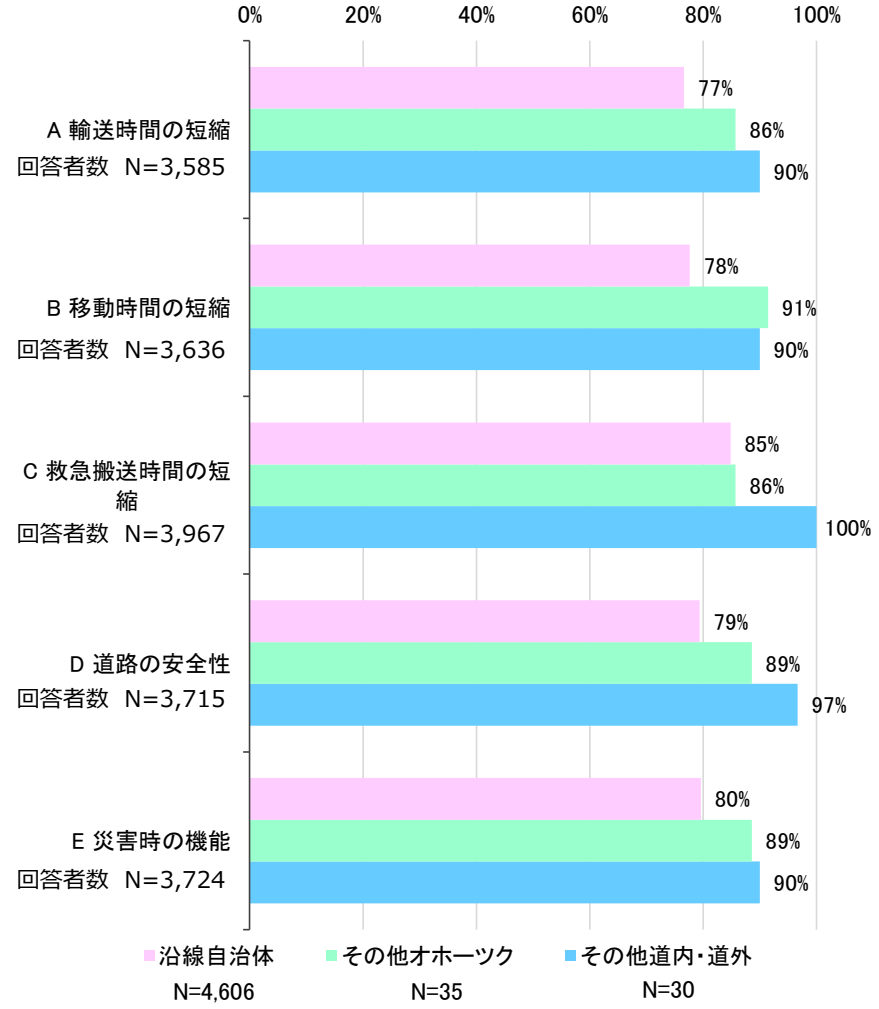
■遠軽～上湧別間利用頻度別の賛同意見割合

（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合）



■遠軽～上湧別間高頻度利用者（毎日・週数回・月数回）における居住地別の賛同意見割合

（「そう思う」または「ややそう思う」と回答した回答者の割合）



高頻度利用者回答数　N=4,671

2-11）第1回地域意見聴取の結果　アンケート調査（自由回答）

○その他の意見・要望としては、早期着工、道路機能、周辺施設へのアクセスに関する意見が多く寄せられた。
○一方で、道路整備や地域への影響に関する意見も寄せられている。

■その他の意見・要望　質問3：その他、遠軽～上湧別間について、意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください（自由記述）

主な意見
• 遠軽町内の混雑解消のためバイパス道路が必要である。 • 移動時間の短縮と走りやすい道路で、人と物の流れを安全・安心にすること。 • 特に郊外部において、冬は横からの風が強くツルツル路面で横すべりし、また地吹雪で視界が悪くなり危険な国道です。 • 遠紋地域の輸送時間が長く担当ドライバーが大変だという話は良く聞きます。 • 遠軽に通院しているが、今後もっと大きな病院（北見、旭川など）にかかるようになる可能性を考えると、高速が通ると便利になるので、早く通してほしい。 • 以前、北海道の田舎の熊しか通らないような高速は無駄だと言った報道があったが、雪国である北海道の田舎だからこそ物流や救急搬送のために高規格道路の延伸が必要だと思っている。日勝峠が使えなくなったときの道東道のように災害時も重要な役割を担う。 • 移動時間が短縮され、今以上に観光客が来町し、町が活性すれば良い。 • JRがない以上、道路だけが頼りです。暴風雪で孤立したら（急病になっても病院に行けないのは）恐いです。 • 大雨により湧別川、社名渕川が増水し国道242号の寸断・通行止が想定されるので早急に整備してほしい。 • 旭川・紋別自動車道という名のとおり、「遠軽～上湧別間」は当然のこと、早期に終点「紋別市」までの着手及び着工を期待しております。 • 旭川・紋別自動車道と十勝オホーツク自動車道の接続も非常に望んでいます。接続された場合の道東地域全体の経済効果も見据えて道路計画をしてもらいたい。 • 旭川・紋別自動車道はパーキングエリアやサービスエリアが少ないので設置してほしい。 • ICの位置やルートを決定する上で、病院や観光施設へのアクセスが良い計画をしてもらえればと思う。 • これからの社会情勢・環境問題・少子化問題等を考えれば地方での新設の道路開発に多額の費用を掛ける必要があるのか疑問に思う、もっと他に必要な使い方があると思う。 • 高規格幹線道路ができると便利になるし、必要だと思いますが、車の流れが変わることによって、商店などに影響を及ぼすことにならないか？観光客に来てもらうまちづくりと、立ち寄りやすい道路を整備して欲しい。

総意見数　N=1,494

※主な意見の掲載件数は、総意見数(N=1,494)の1%に該当する15件を掲載。
そのうち、将来を見据えた地域課題・必要な道路機能に係る補足意見について約半数の8件、要望や期待・整備方針等のその他意見を約半数の7件掲載。

2-12）第1回地域意見聴取の結果　ヒアリング調査（将来を見据えた地域の課題）

○遠紋地域の将来を見据えた地域の課題については、特に「事故の危険性」、「災害時の通行止め」への意見が多く寄せられた。

■将来を見据えた地域の課題について

問1.遠紋地域の将来を見据えた地域の課題についてご意見をお聞かせ下さい。

項目	自治体	商工会議所 商工会	農協・漁協 森林組合	運輸	バス・観光	病院 消防組合
1.物流の輸送時間	○	○	○	○	－	－
2.観光の移動時間	○	○	－	－	○	－
3.救急搬送の時間	○	○	－	－	－	○
4.事故の危険性	○	○	○	○	○	○
5.災害時の通行止め	○	○	○	○	○	○

凡例
○：言及あり
－：言及なし

総回答者数　N=39

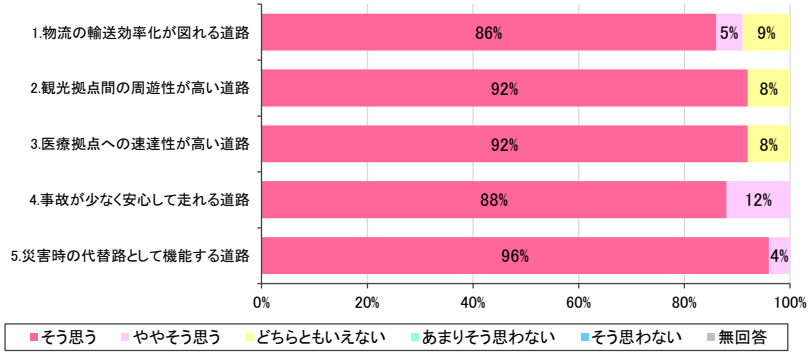
■選択した項目が重要だと思う理由

項目	主な意見
1.物流の輸送時間	• 道東圏の一次生産地から、道央圏等の消費地への距離が長く、物流輸送に時間がかかっている。【商工会議所・商工会】 • 旭川・紋別自動車道は、遠紋地域から苫小牧港に加え、根室・羅臼から旭川方面への広域物流も担っている。近年、ドライバー不足、労務管理厳格化という背景があり、遠紋地域は苫小牧港等への長距離輸送の場合、日帰り運行することが難しい。遠紋地域は生鮮品が多く、日帰り運行できないことは大きなデメリットである。【運輸】
2.観光の移動時間	• 海外観光客のレンタカー利用が増加しており、移動時間の短縮が重要な課題であると思う。【商工会議所・商工会】 • 道央圏からの移動時間が長くかかっていると思う。時間短縮が図られることで、目的地での観光時間の確保や周遊観光ルート設定の可能性が大きく広がると思う。【観光】
3.救急搬送の時間	• 遠軽厚生病院の二次医療圏域は広い。救急搬送にかかる時間について、遠軽～紋別・北見は1 時間以上、遠軽～旭川は2 時間かかる。全国平均（都市部も含め）と比較しても距離的にも時間がかかってしまっている。【病院】 • 国道は大型車や低速車も走行しており、救急搬送に時間がかかっている。また、遠軽市街地には、信号交差点が多数あり、救急搬送の際に赤信号で一時停止しなければならない。搬送される患者、運転手ともにストレスがかかってしまっていると思う。【消防組合】
4.事故の危険性	• 遠軽市街地は信号交差点が連続して存在しており、事故の危険性が高いと思う。【自治体】 • 大型車からすると、国道は道幅が狭いと思う。特に冬期は、路肩の堆雪によってさらに道幅が狭くなり、歩行者にとっても危険に感じると思う。【商工会議所・商工会】
5.災害時の通行止め	• 冬期間は、地吹雪により日常的に視界不良が起こる。場合によっては、命に係わる事故に繋がりかねないと思う。【商工会議所・商工会】 • 過去には、河川の氾濫に伴い町内が浸水する被害を経験している。国道の通行ができなくなったり、まちが孤立化してしまう懸念がある。【自治体】

2-13）第1回地域意見聴取の結果　ヒアリング調査（遠軽～上湧別間に必要な道路機能）

○国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路の機能としては、「災害時の代替路として機能する道路」が最も多く、次いで「事故が少なく安心して走れる道路」に関する意見が多く寄せられた。
○また、医療拠点への速達性以外に、救急搬送時に搬送患者への負担軽減を求める意見があった。

■国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路機能



総回答者数　N=39

問2.国道242号遠軽～上湧別間に必要な道路はどのような道路だと思いますか。
以下に示す5つの機能について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価して下さい。
1.農水産物の輸送時間を短縮でき、物流の輸送効率が高い道路。
2.旭川市等の宿泊拠点から観光地間をスムーズに移動でき、観光活性化が図れる道路。
3.高次医療機関を有する遠軽町・北見市等の病院へ早くスムーズに救急搬送が可能な道路。
4.急カーブ区間等の解消により、事故が少なく安心して走れる道路。
5.洪水浸水時や暴風雪発生時にも、国道242号の代替路として機能する道路。

■選択した項目が重要だと思う理由

項目	主な意見
1.農水産物の輸送時間を短縮でき、物流の輸送効率が高い道路。	• 生鮮食品の輸送は、時間短縮が重要な視点であり、消費者にとっても食の安全を確保できる道路が必要であると思う。【漁協】 • 物流輸送の時間短縮、輸送効率の高い道路が必要であると思う。現状、1往復だった販路が2往復できる様になる等、時間的な労力が減ると思う。トラックの運転手不足にも貢献できると思う。【農協】
2.旭川市等の宿泊拠点から観光地間をスムーズに移動でき、観光活性化が図れる道路。	• 花回遊観光等、広域観光の周遊性向上や日帰り観光客の増加が期待できると思う。【自治体】 • 近年、レンタカー利用客が増加しているが、車での移動は2時間程度が目安であると考えている。高規格道路の整備は、移動時間の短縮が図られるため、観光活性化に有効である。【観光】
3.高次医療機関を有する遠軽町・北見市等の病院へ早くスムーズに救急搬送が可能な道路。	• 救急搬送の速達性の向上によって、医療機関の発展や医療従事者の増加も期待できると思う。【自治体】 • 心疾患は遠軽町、脳疾患は北見市の病院と連携をとっており、遠軽～上湧別間の需要は多い。この様な患者にとって、搬送時間を一分一秒でも短縮することが求められるとともに、発進・停止の削減による搬送患者への負担の軽減が求められる。【病院】
4.急カーブ区間等の解消により、事故が少なく安心して走れる道路。	• 遠軽市街地の国道は、カーブ区間や変則交差点箇所があり、冬期には路面凍結により危険を感じる。こうした区間を回避できる道路が必要であると思う。歩行者と交通が分離できることからも、安心して走行できると思う。【運輸】 • 一次産業の生産品、加工品の輸送には、大型車両が使用されるため、地域住民や運転手の安全確保のため、急カーブや信号のない高規格道路の整備が必要であると思う。【自治体】
5.洪水浸水時や暴風雪発生時にも、国道242号の代替路として機能する道路。	• 自然災害発生時の緊急輸送道路としての役割を担う、国道242号の代替路が必要であると思う。【商工会議所・商工会】 • 国道等の主要幹線道路が通行止めになると、地方都市は孤立してしまう。災害に強い道路が必要であると思う。【自治体】

2-14）第1回地域意見聴取の結果　ヒアリング調査（自由回答）

○その他の意見・要望としては、周辺施設や周辺道路へのアクセス性や、観光・経済等の地域の取り組みとインフラ整備を絡めていきたいとの意見も寄せられた。
○また、追い越し車線や休憩施設等の道路機能についての意見も寄せられた。

■その他の意見・要望

問3.その他、国道242号遠軽～上湧別間について、ご意見やご要望がありましたらお聞かせ下さい。

主な意見
• 遠軽～上湧別間は、国道沿いに多くの店舗や住宅等が立地しており、製品等を運搬する大型車両が頻繁に走行すると、騒音や排気ガスの問題、交通事故の危険性等を生じさせる恐れがあると思う。【自治体】 • 延長11km程度かもしれないが、高規格幹線道路が整備されることは輸送効率向上にとって非常に大きい。また、信号交差点を多く回避できることも非常に有効である。【運輸】 • 生産地だからこそ食べられる味だと観光客が来てくれると思う。長い目で見れば、魚介類のブランド力を向上させていけると考えられるため、食材輸送の時間短縮はとても重要な視点である。【漁業協同組合】 • 早期に道路のミッシングリンクを解消することで、遠紋地域における医療連携がとりやすくなると考えている。また、遠軽・紋別地域の高齢者率は、全国平均よりも10%以上高いと認識している。鉄路がない地域であるので、高齢者も安心して利用できる公共交通機関、道路の整備が重要であると思う。また、既存の公共施設や地域の病院、観光施設の利便性も考慮し、高規格道路を計画して欲しい。【病院】 • 道東圏は北海道らしい観光を有しているが、公共交通機関が脆弱で、客足が遠のいている。高規格幹線道路が整備されることは移動効率向上にとって非常に大きい。現在、6～21時の行程で札幌～遠紋地域への日帰り旅行を販売しているが、移動時間がかかるため観光客に申し訳なく感じている。【観光】 • 道内では冬期の観光客が少なくなる傾向にあるが、例えば外国人観光客では札幌（新千歳空港）～オホーツク（流氷）～阿寒温泉等のツアールートの人気があり、道東圏の魅力は高いと感じている。【観光】 • 遠軽町には、自衛隊の駐屯地があるが、広域的な災害対応の際には、緊急輸送道路としての機能を発揮し、出動がスムーズになるのではないかと思う。【自治体】 • 旭川・紋別自動車道は、紋別まで整備されてこそ、大きな効果を発揮できると思うので、早期完成を望んでいる。【農業協同組合】 • 高規格道路の延伸に伴い、工業団地への企業誘致を狙っていきたいと考えている。【自治体】 • 町営バスを運行しているが、旭川・紋別自動車道の延伸等でネットワークが変化し、利用客のニーズが変われば、コミュニティバスのダイヤ変更や増便について検討する可能性がある。【自治体】 • 物流の観点で、スムーズな交通流を確保するために、適切な間隔で追い越し車線を設置してほしい。【森林組合】 • バスは2時間おきに1回の休憩時間の確保が必要である。よって、適度な休憩施設の配置が重要である。道の駅との連携やパーキングエリアの設置を望んでいる。【バス事業者】

総回答者数　N=39

2-15）第1回地域意見聴取の結果　ヒアリング調査（地域の将来像・取り組み）

○地域の将来像、取り組みについて様々な意見が寄せられ、中には遠軽～上湧別間の整備により相乗効果が期待される項目も多いことが確認された。

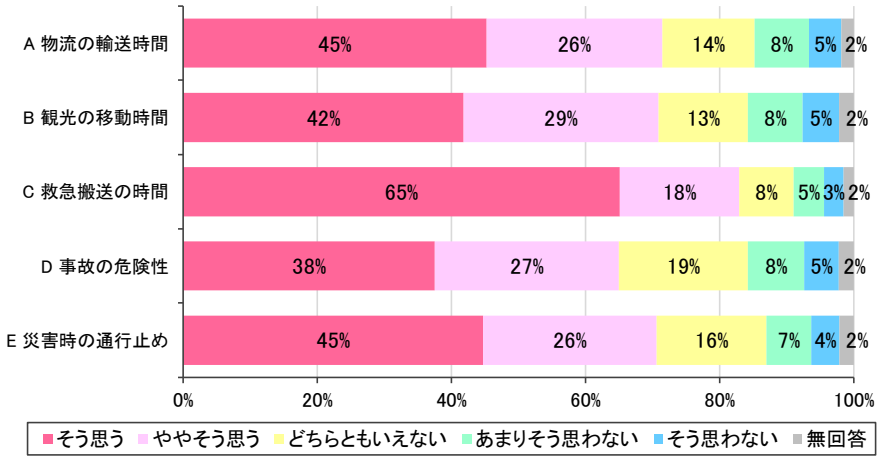
関係団体	地域の将来像・取り組み
自治体	■ スポーツ合宿の誘致 天候に左右されない人工芝のグラウンドを活用し、高規格幹線道路の延伸等を機会に、各方面から呼び込みを行いたいと考えている。
商工会議所 商工会	■ インバウンド観光への対応 既存のバンガロー等の修繕に取り組み、観光客・キャンプ客に来てもらっている。インバウンド観光の方も多くみられ、シーズンは予約が取れないほどである。花観光としても、藤棚を整備することで多くの観光客に見に来てもらいたいと思う。こうした、地方の財産を廃らせることなく、高規格道路整備と関連付け、よりよいまちづくりをしていきたいと思う。 ■ 商圏の拡大、地域ブランドの発信 高規格幹線道路が整備されることによって人口や経済の流出が懸念されるとの声もあるが、商工会議所としては、インフラ整備を起点として商圏の拡大を狙い、積極的に地域のブランド力を発信していきたいと思う。例えば、地元の原材料を使用した化粧品会社の直営店（本店）が町内に立地しているが、そこは全国から注文がきており、なかにはオホーツク地域に足を運んでもらい、商品を購入してもらっているお客様もいる。このようなことから、遠紋地域で宿泊、観光してもらうことで、地域の活性化に繋がっているのではないかと思う。よって、地方の都市でも、”地域の魅力”を発信することで市街地に入ってきてもらえると考えている。
農業協同組合	■ 乳牛育成センターの支援 仔牛を集めて育成し、生産者に橋渡しする施設であるが、牛の輸送の際には揺れ等によるストレス発生、品質低下等に非常に気を使っている。高規格幹線道路の整備により、発進・停止等の挙動が少なくなることから、牛を運ぶ際のストレス低減が見込めるのではないかと思う。 ■ バイオガス発電施設の整備 町、漁協、農協と協同して全道で一番の規模を計画している。バイオガス発電では、電気のほかに熱がつくれるという特徴がある。この熱を利用して温泉をつくったりしている地域もあるが、農協としては、ハウス栽培に活用できるのではないかと考えている。高規格幹線道路の整備により、発電に使用する燃料の輸送等が効率的になると思う。
漁業協同組合	■ 屋根付き岸壁の整備 水産物の輸出強化を狙っている。輸出量が多いものについては船での輸送が考えられるが、道路の需要も組み合わせて、地域の水産物を流通させていきたいと考えている。遠軽～上湧別間だけではなく、紋別までの延伸により、大きな効果、需要があると思う。早期整備を強く願っている。 ■ 水産加工場の整備 通年で働ける雇用環境をつくりたい。高卒の方や身障者の方であっても、道央圏に流出することなく、地元で安心して働ける場所を整備したいと思う。高規格幹線道路の整備により、都市部へのアクセスが改善され、若者の流出防止等に繋がり、雇用確保が図られると期待します。
トラック協会	■ 輸送環境への対応 トラックドライバーの労働時間削減のため、運転時間を短くすることもあるが、荷下ろしの待ち時間や、積み込みの時間など、作業時間を短くする取り組みも進めている。また、今後の輸送環境について、将来的には、自動運転による輸送が目標だが、その際は、一般道より高規格幹線道路の方が安全性は高く、運用に適していると思われるため、今後も道路整備を進めてほしいと思っている。昨今のドライバー不足は深刻であり、長時間労働で賃金が安いといったイメージが付いており、人が入ってこないことが、課題である。

2-16）第1回地域意見聴取の結果（アンケート･ヒアリング）結果のまとめ

○第1回意見聴取の結果、将来を見据えた地域の課題、遠軽～上湧別間に必要な道路機能について確認。

■住民･道路利用者が感じる地域課題

【アンケート】



総回答者数　N=6,452

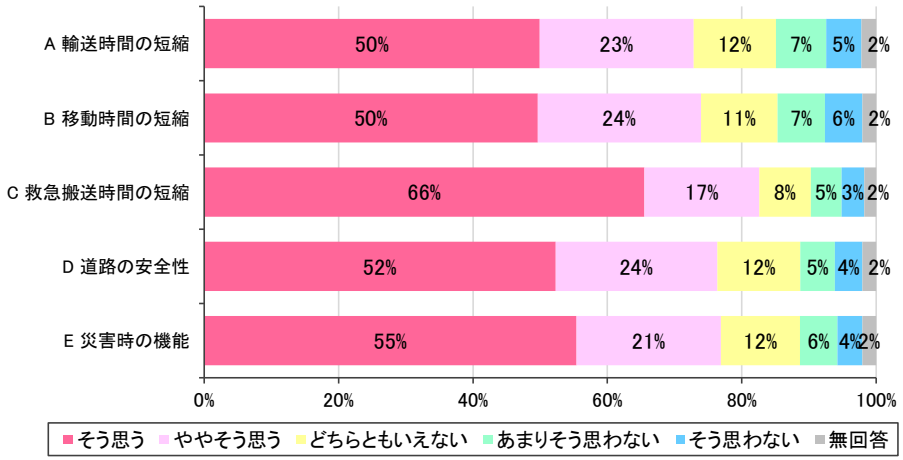
【ヒアリング】

項目	自治体	商工会議所 商工会	農協･漁協 森林組合	運輸	バス･ 観光	病院 消防組合
1.物流の輸送時間	○	○	○	○	–	–
2.観光の移動時間	○	○	–	–	○	–
3.救急搬送の時間	○	○	–	–	–	○
4.事故の危険性	○	○	○	○	○	○
5.災害時の通行止め	○	○	○	○	○	○

総回答者数　N=39

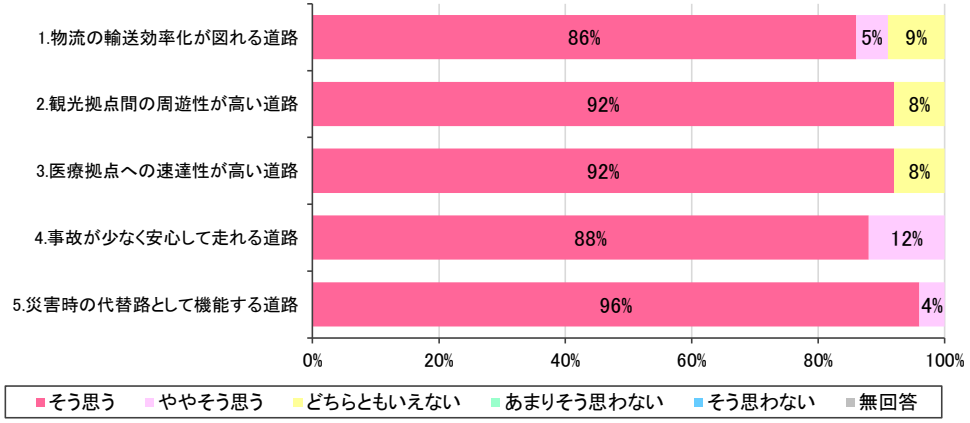
■遠軽～上湧別間に必要な道路機能について

【アンケート】



総回答者数　N=6,452

【ヒアリング】



総回答者数　N=39

アンケート、ヒアリング結果から道路整備の必要性を確認

3.地域意見を踏まえた政策目標

3-1）政策目標の設定

○第１回地域意見聴取の結果を踏まえ、本地域の政策目標を設定。
○別線整備や既存の道路ストック活用も含め対策案を設定し、整備方針を検討。

■政策目標の設定

- 地域や道路の状況・課題
- 圏域と地域の将来像
- 地域意見聴取の結果

→

○安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援
○定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援
○救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援
○災害発生時の国道の機能確保

■対策案の検討

【物流関連】
○線形不良区間や市街地の回避による走行性の向上
○物流拠点までの輸送時間の短縮

【観光関連】
○広域に点在する観光地間の移動時間短縮

【医療関連】
○高次医療機関までの搬送時間の短縮
○救急搬送時の安定性向上による搬送患者の負担軽減

【災害関連】
○災害発生時の道路機能の確保
○代替路の確保

↓

別線整備や既存の道路ストック活用も含め対策案を設定し整備方針を検討

4.路線の整備方針（案）

4-1）路線の対策案の考え方

○第1回地域意見聴取で地域の課題、遠軽～上湧別間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような3つの対策案を設定。

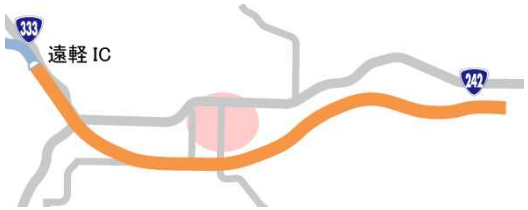
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	災害発生時の国道の機能確保
政策目標達成に必要な機能	○紋別港から主要物流拠点である苫小牧港、北見市～紋別市間の速達性が高い道路 ○線形不良区間や信号交差点を回避し、安全・円滑に輸送できる道路	○観光客宿泊拠点である旭川等の地域外から遠紋地域への連結性向上、地域内の観光地間のアクセス性が高い道路	○3次医療機関がある北見市、2次医療機関がある遠軽町までの速達性が高い道路 ○救急搬送時の安定性向上による患者の負担軽減	○災害時にも機能する道路 ○代替路の確保

配慮すべきポイント：○地域への影響　○環境への影響　○工事中の影響　○経済性

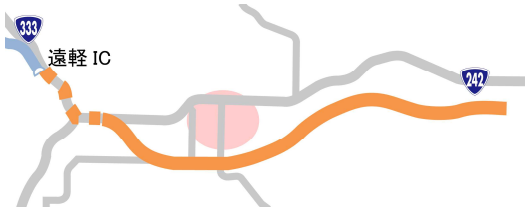
3つの対策案と整備イメージ

凡例
- ：市街地・集落
- ：現道
- ：別線整備
- ：現道改良

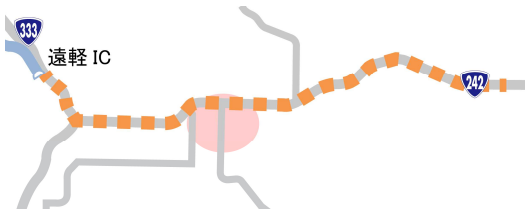
【案①】別線整備ルート
別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート



【案②】別線・一部現道改良ルート
別線整備・一部現道改良により、現道課題の解消を図るルート



【案③】現道改良ルート
現道を改良し、現道課題の解消を図るルート



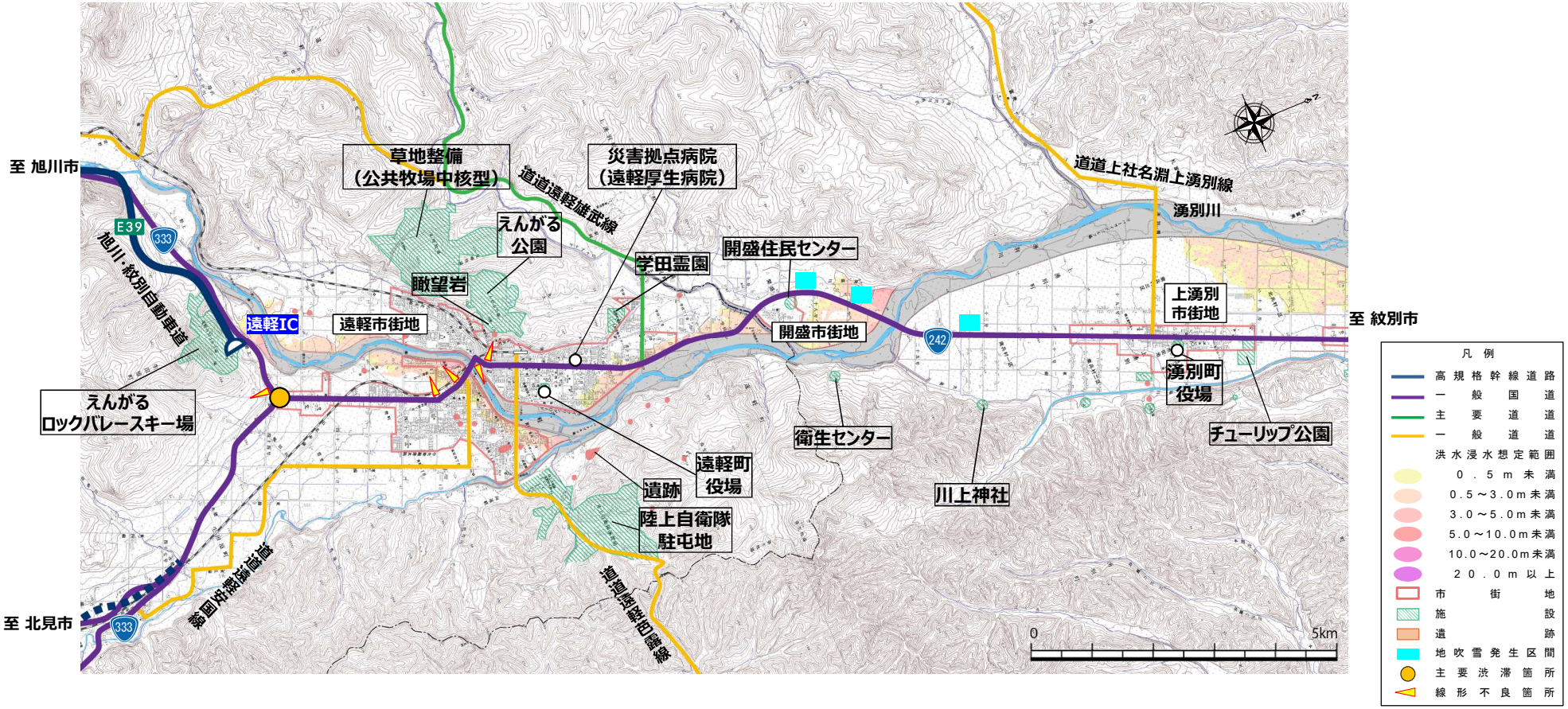
4-2）評価項目

地域の課題	政策目標	求められる機能	評価項目
産業支援 （物流）	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	○紋別港から主要物流拠点である苫小牧港、北見市～紋別市間の速達性が高い道路	• 輸送時間の短縮
		○線形不良区間や信号交差点を回避し、安全・円滑に輸送できる道路	• 線形不良区間や信号交差点の回避
観光支援 （人流）	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	○観光客宿泊拠点である旭川等の地域外から遠紋地域への連結性や地域内の観光地間のアクセス性が高い道路	• 周遊観光時の移動時間の短縮
暮らし （医療）	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	○3次医療機関がある北見市、2次医療機関がある遠軽町までの、速達性が高い道路	• 北見市への搬送時間の短縮
			• 遠紋地域の60分圏カバー人口の増加
		○救急搬送時の安定性向上による患者の負担軽減	• 線形不良区間や信号交差点の回避
災害 (防災・減災)	災害発生時の国道の機能確保	○災害時にも機能する道路	• 災害時の耐災害性
		○代替路の確保	• 災害時の代替性

配慮すべき事項	評価項目
地域への影響	家屋や施設等への影響に配慮
環境への影響	樹林地などの自然環境への影響に配慮
工事中の影響	工事中の現道交通への影響に配慮
経済性	建設に要する費用

4-3）対策案のコントロールポイントの考え方

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、国指定名勝の瞰望岩等の自然環境、市街地や洪水浸水想定範囲等の課題箇所の回避を図れるルートを設定し、市街地へのアクセスに配慮。

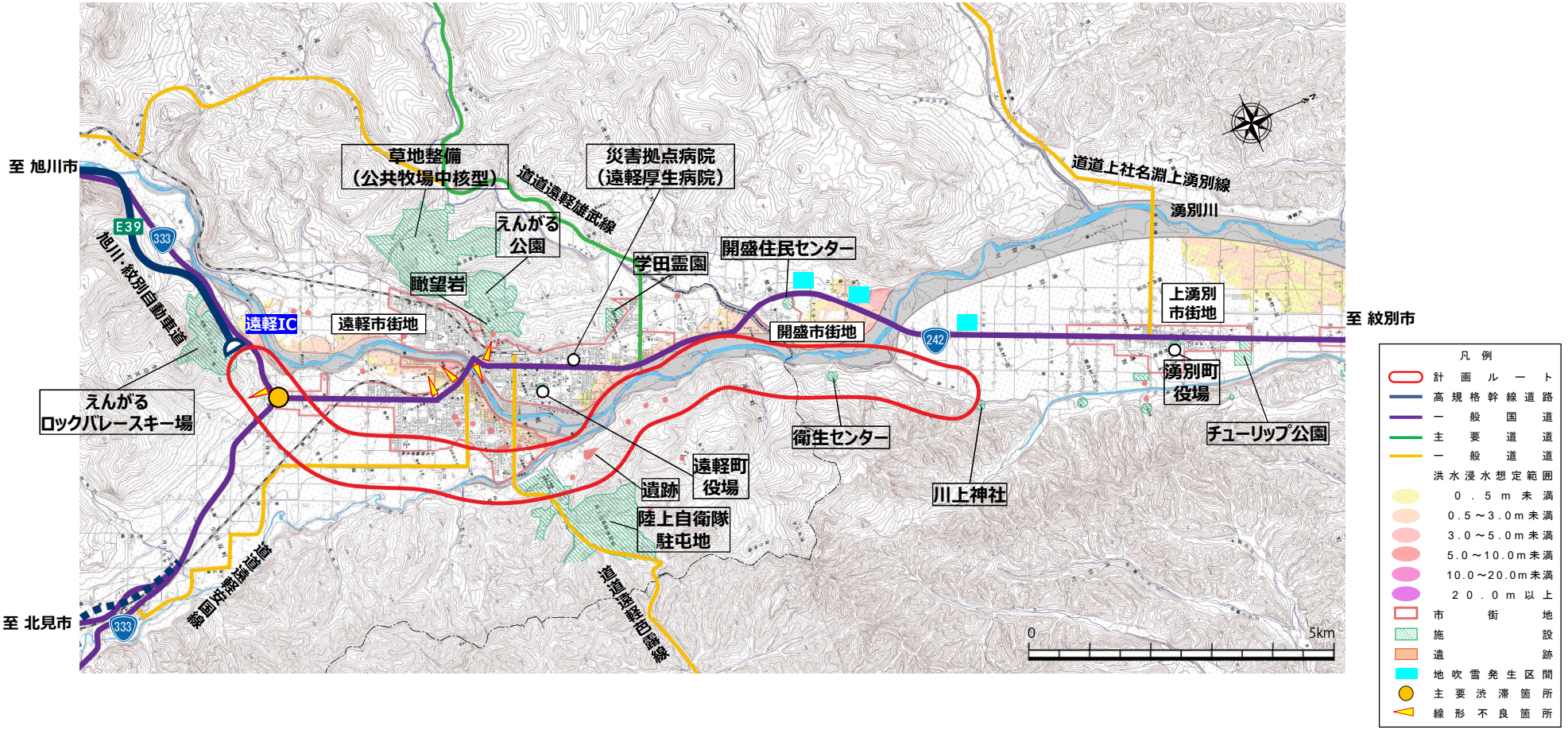


配慮すべき施設等 （社会的状況による要因）	• 市街地（都市計画区域）や集落、農用地 • 公共施設（役場、病院、霊園、神社、陸上自衛隊駐屯地等） • 史跡、遺跡
配慮すべき事項 （自然環境）	• 自然環境 • 洪水浸水想定範囲、地吹雪発生区間

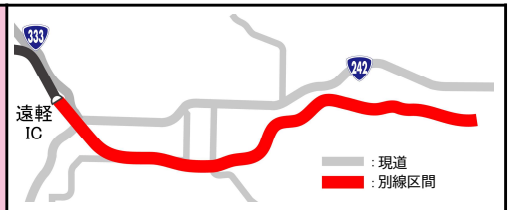
*瞰望岩：地上から約78メートルにそびえる瞰望岩は、アイヌ語で「インカルシ」、見晴らしの良いところという意味。北海道自然百選にも選ばれており、また、平成23年2月7日に、国指定名勝「ピリカノカ」の構成資産として、オホーツク管内で初めて指定。（遠軽町HPより）

4-4）対策案の概要（案①：別線整備ルート）

○別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート。



■整備イメージ

案①	

■整備概要

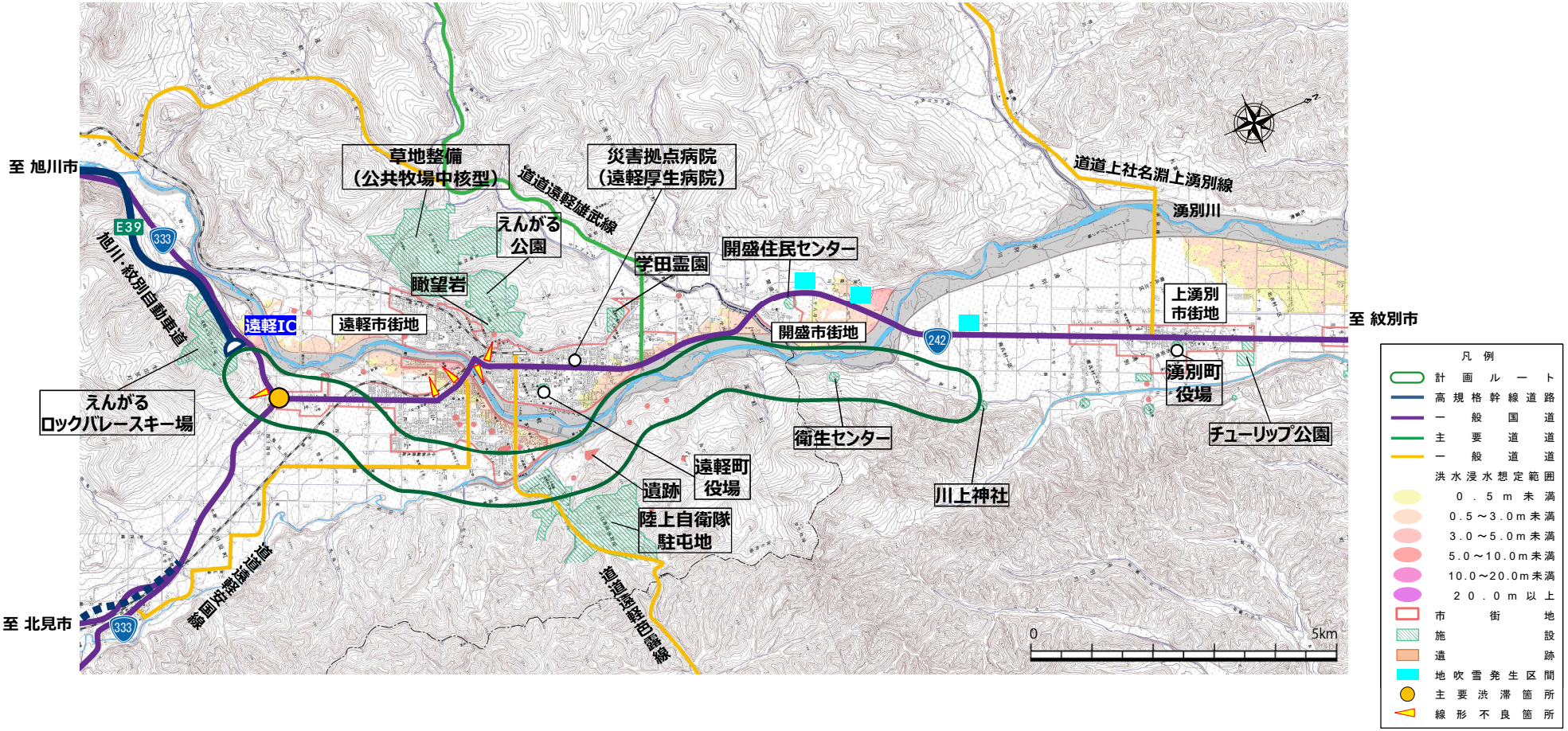
延長	約14km（自動車専用道路14km）
構造	自動車専用道路（設計速度80km/hを想定）
コスト	約240～300億円

■ポイント

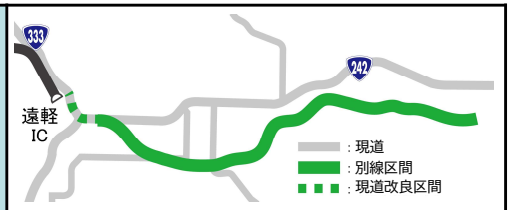
内容	• 線形不良区間や信号交差点を全て回避し、安全性・安定性が向上するとともに、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果が大きい • 災害時にも国道機能を発揮し、代替路の確保が可能

4-4）対策案の概要（案②：別線・一部現道改良ルート）

○別線・一部現道改良により、現道課題の解消を図るルート。



■整備イメージ

案②	

■整備概要

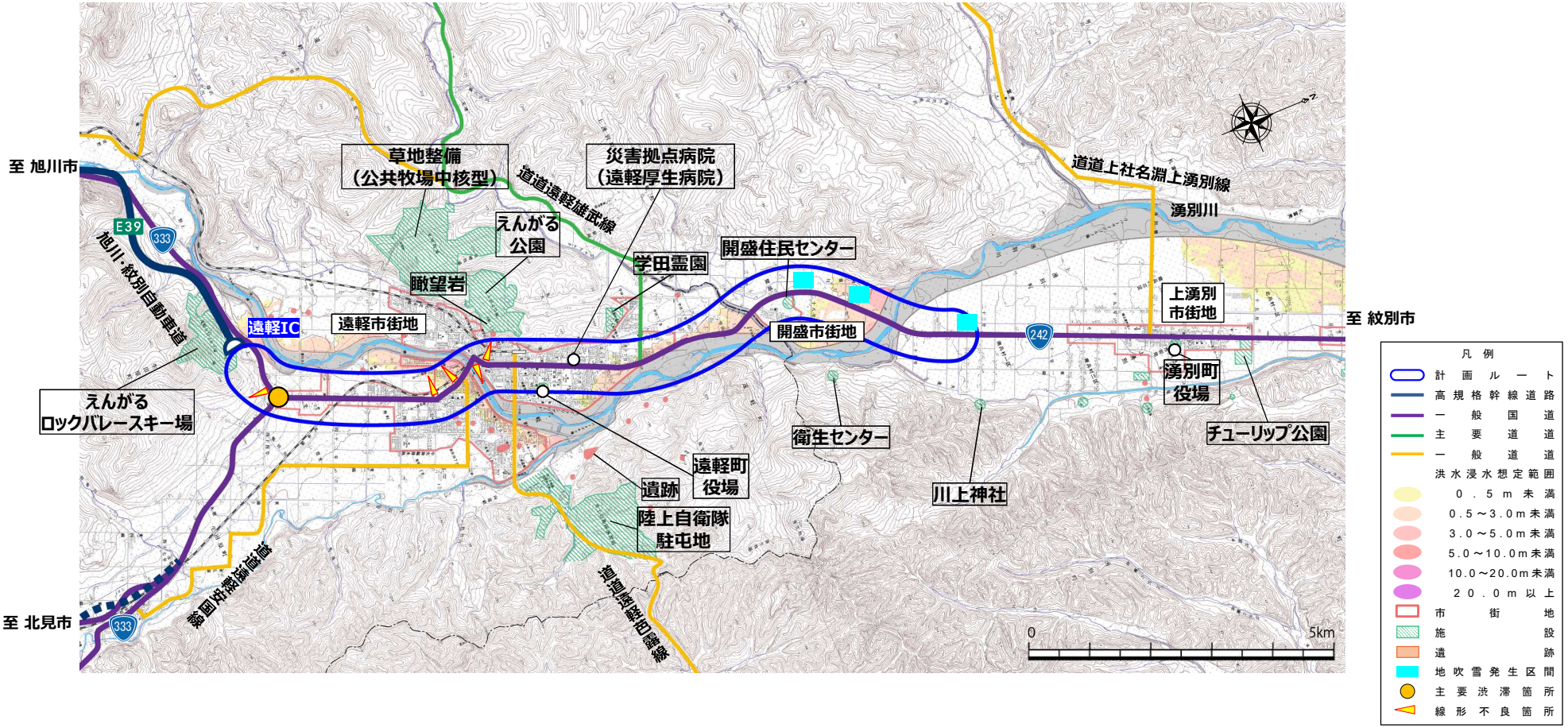
延長	約14km（現道改良2km、自動車専用道路12km）
構造	現道改良区間（設計速度60km/hを想定） 自動車専用道路（設計速度80km/hを想定）
コスト	約210～270億円

■ポイント

内容	• 線形不良区間や信号交差点を一部回避し、安全性・安定性がやや向上するが、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果はやや小さい • 災害時にも国道機能を発揮するが、代替路の確保は部分的

4-4）対策案の概要（案③：現道改良ルート）

○市街地部の拡幅や洪水浸水想定箇所の嵩上げ等を行い、現道課題の解消を図るルート。



■整備イメージ

案③	

■整備概要

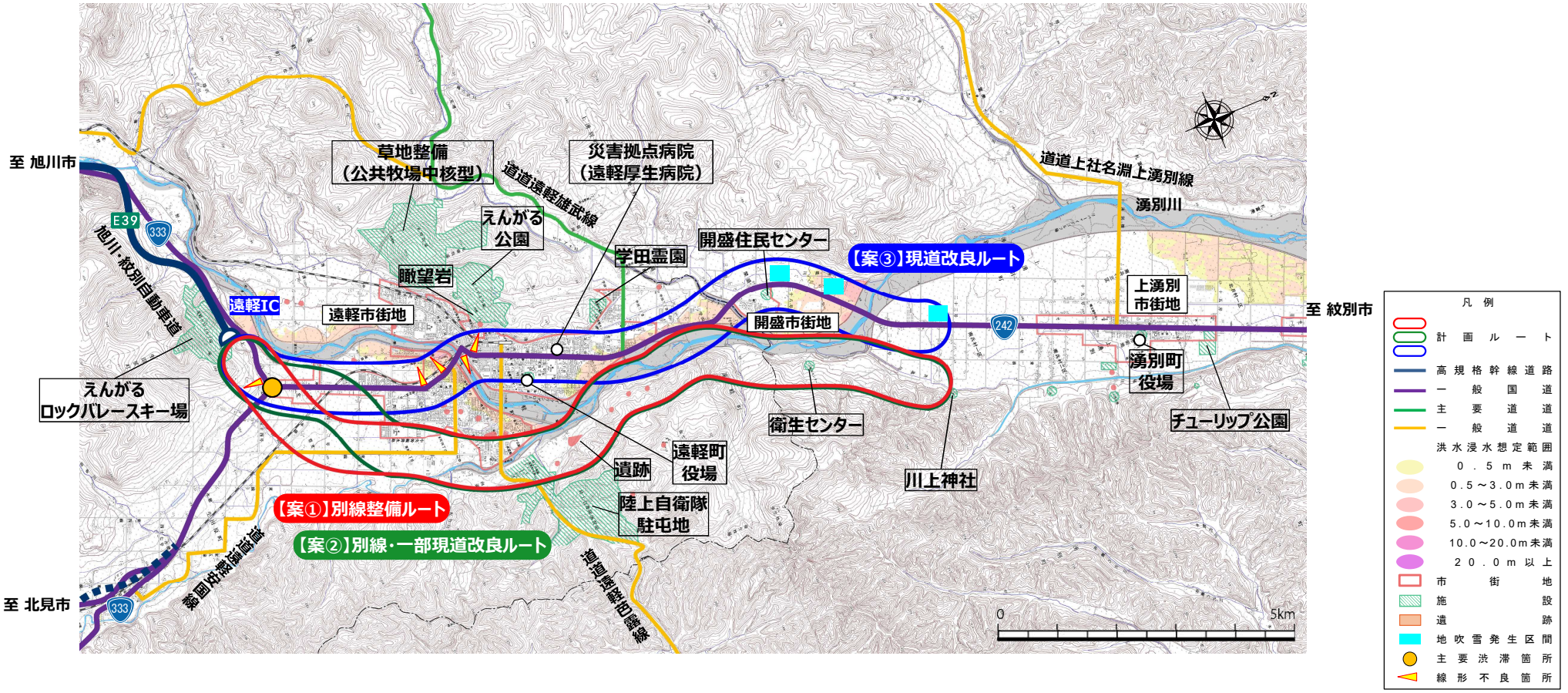
延長	約13km（現道改良13km）
構造	現道改良区間（設計速度60km/hを想定）
コスト	約350～430億円

■ポイント

内容	• 信号交差点が残り、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は小さい • 現道嵩上げ、防雪対策により、災害時にも国道機能を発揮するが、代替路は確保されない

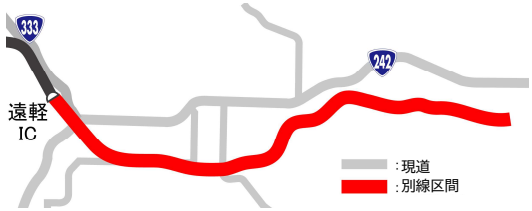
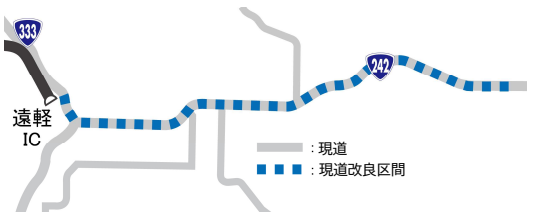
4-5）対策案のまとめ

○コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から３つの対策案を設定。



案①：別線整備ルート （別線整備により、現道課題解消と時間短縮を図るルート）	⇒	• 線形不良区間や信号交差点を全て回避し、安全性・安定性が向上するとともに、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果が大きい • 災害時にも国道機能を発揮し、代替路の確保が可能
案②：別線・一部現道改良ルート （別線整備・一部現道改良により、現道課題解消を図るルート）	⇒	• 線形不良区間や信号交差点を一部回避し、安全性・安定性がやや向上するが、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で中位 • 災害時にも国道機能を発揮するが、代替路の確保は部分的
案③：現道改良ルート （現道改良により、現道課題解消を図るルート）	⇒	• 信号交差点が残り、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で最も劣る • 現道嵩上げ、防雪対策により、災害時にも国道機能を発揮するが、代替路は確保されない

4-6）対策案の比較

対策案の考え方			【案①】別線整備ルート 別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート	【案②】別線・一部現道改良ルート 別線整備・一部現道改良により現道課題の解消を図るルート	【案③】現道改良ルート 現道改良により、現道課題の解消を図るルート
整備イメージ					
区間延長			約14km（自動車専用道路）	約14km（現道改良＋自動車専用道路）	約13km（現道改良）
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	輸送時の速達性	• 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（16分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（15分短縮※）が大きい	• 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（12分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（12分短縮※）がやや小さい	• 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（3分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（3分短縮※）が小さい
		輸送時の安全性	• 線形不良区間を全て回避（5箇所→0箇所） • 信号交差点を全て回避（30箇所→0箇所）	• 線形不良区間を一部回避（5箇所→1箇所） • 信号交差点を一部回避（30箇所→2箇所）	• 線形不良区間に中央分離帯を設置し、走行性を向上 • 信号交差点は現況と同じ（30箇所→30箇所）
	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	周遊観光時の速達性	• 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が大きい（16分短縮※）	• 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果がやや小さい（12分短縮※）	• 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が小さい（3分短縮※）
	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	高次医療機関への速達性	• 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（10分短縮※）が大きい	• 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（6分短縮※）がやや小さい	• 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（3分短縮※）が小さい
			• 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：76%※）	• 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：76%※）	• 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加がやや小さい（遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：64%※）
		救急搬送の安定性	• 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避し、搬送患者の負担を軽減（信号交差点30箇所→0箇所、線形不良区間5箇所→0箇所）	• 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を一部回避し、搬送患者の負担をやや軽減（信号交差点30箇所→2箇所、線形不良区間5箇所→1箇所）	• 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避しないため、搬送患者の負担の軽減は困難（信号交差点30箇所→30箇所、線形不良区間5箇所→5箇所）
	災害発生時の国道の機能確保	災害時の道路機能の確保	• 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	• 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	• 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能（洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）
		代替路の確保	• 全線別線にて整備することで代替路の確保が可能	• 一部現道を改良するため、部分的に代替路の確保が可能	• 全線現道を改良するため、代替路が確保されない
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	• 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	• 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	• 市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい
	環境への影響	自然環境への影響	• 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	• 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	• 現道を改良するため、自然環境への影響は小さい
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	• 郊外部の別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい	• 国道接続部で、通行規制や沿道利用の現道交通への影響が発生	• 国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい
	経済性	経済性・概算事業費	• 別線整備の延長が長く、案②より経済性に劣る 約240～300億円	• 別線整備の延長が短く、経済性に優れる 約210～270億円	• 現道改良のため、用地費、補償費が大きく、案①・案②より経済性に劣る 約350～430億円

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

5.第2回地域意見聴取方法

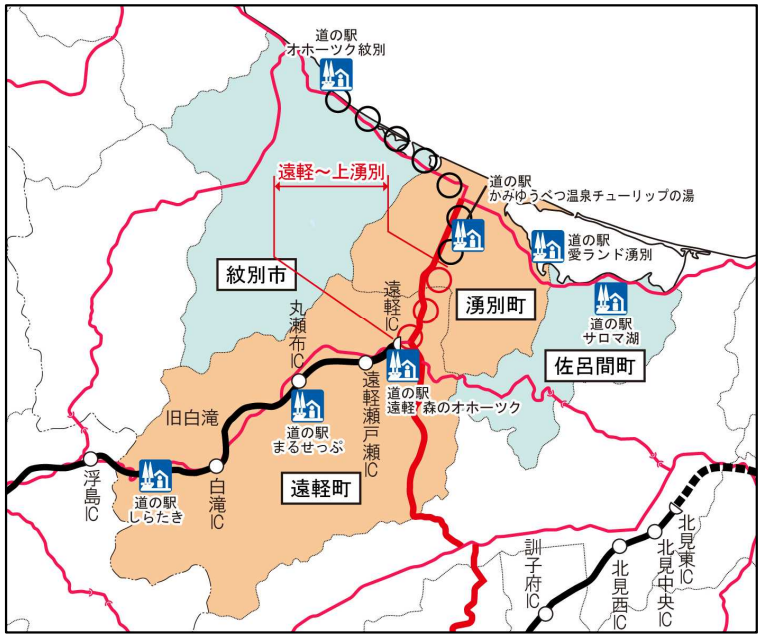
5-1）第2回地域意見聴取方法

■第2回地域意見聴取の基本方針

○「比較ルート帯（案）」、「配慮すべき事項」に対し意見を伺う。

■アンケート配布範囲

：沿線市町村
：周辺市町村
：国道242号
：一般国道



■地域意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法			
ヒアリング	【沿線自治体、関係団体及び観光客】		
	沿線自治体等	オホーツク総合振興局、紋別市、佐呂間町、遠軽町、湧別町	インタービュー形式でのヒアリング
	関係団体	商工会議所・商工会（5箇所） 商工会議所・商工会女性部（3箇所） 農業協同組合（4箇所） 農業協同組合女性部（4箇所） 漁業協同組合（3箇所） 漁業協同組合女性部（2箇所） 森林組合（3箇所）、北海道トラック協会、北見地区トラック協会（2箇所） 北海道バス協会、バス事業者（2箇所）、北海道観光振興機構、オホーツク観光連盟（2箇所） 消防本部・消防組合（2箇所） 病院（3箇所）	
アンケート	【地域住民及び道路利用者】		
	地域住民	紋別市（全戸：約11,200戸）、佐呂間町（全戸：約2,100戸） 遠軽町（全戸：約 9,400戸）、湧別町（全戸：約3,800戸）	配布アンケート調査 （約26,500戸）
	道路利用者	役場（紋別市役所、佐呂間町役場、遠軽町役場、湧別町役場） 道の駅（オホーツク紋別、サロマ湖、まるせっぷ、しらたき、遠軽森のオホーツク、かみゆうべつ温泉チューリップの湯、愛ランド湧別）	常設の留置きアンケート調査
		広域的な利用者	WEBアンケート調査
	観光客	観光施設等（観光施設、道の駅等）	面談アンケート調査

5-2）第2回地域意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や関係団体への意見聴取	・地域や道路の課題に関し、自治体や関係団体への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。 ・自治体や関係団体との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題	旭川・紋別自動車道の調査中区間（遠軽～上湧別）及び並行する国道242号の現状について、回答者の考える課題を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯（複数案）、インターチェンジに対する意見	ルート帯、インターチェンジ選定に当り、地域住民等が重要視する視点、配慮すべき事項を把握する。	第2回
その他自由意見	その他、対象区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

5-3）第2回アンケート調査（案）

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

①調査概要

➡ ○本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

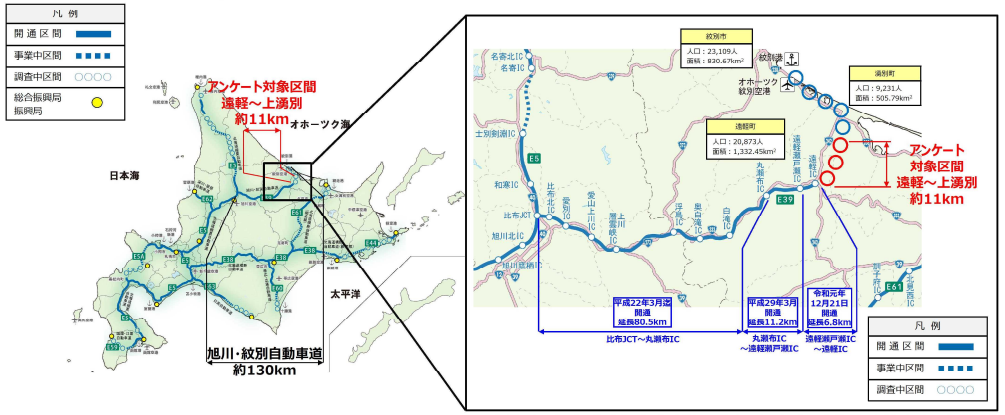
②第1回アンケート調査の結果

➡ ○「将来を見据えた地域の課題」、「遠軽～上湧別に必要な道路」について集計結果を提示

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）における
道路計画に関する第2回アンケート調査

○旭川・紋別自動車道は、比布町を起点として愛別町、上川町、遠軽町等を経由し、紋別市へ至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路です。
○本アンケートは、旭川・紋別自動車道のうち、遠軽～上湧別間の計画検討にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取組として実施するものです。
○今年の2～3月に実施しました第1回意見聴取では、地域の皆様が日頃感じておられる地域の課題や、必要な道路機能等について、ご意見を頂きました。ご協力、ありがとうございました。
○今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きします。アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

■本アンケートでは、遠軽～上湧別間の計画についてお伺いします。



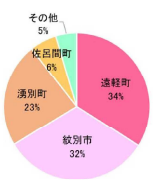
資料：人口は平成27年国勢調査（総務省）、面積は平成30年全国都道府県市区町村面積調（国土地理院）

第1回アンケート調査の結果

アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから、6,452件の回答をいただきました。

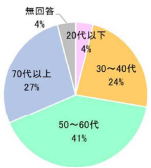
回答者の居住地、年齢、運転頻度、遠軽～上湧別間の利用頻度、利用目的

■居住地



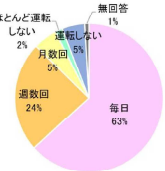
総回答者数 N=6,452

■年齢構成



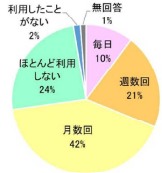
総回答者数 N=6,452

■自動車の運転頻度



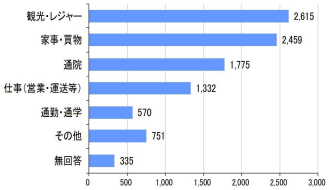
総回答者数 N=6,452

■遠軽～上湧別間の利用頻度



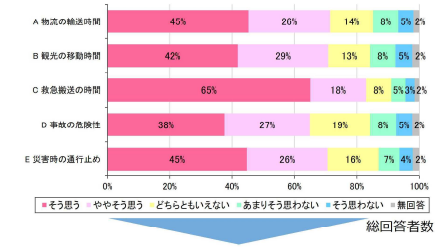
総回答者数 N=6,452

■遠軽～上湧別間の利用目的



総回答者数 N=6,452

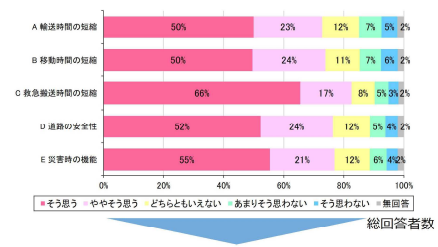
将来を見据えた地域の課題



総回答者数 N=6,452

将来を見据えた地域の課題は、特に救急搬送の時間や、物流の輸送時間、災害時の通行止めが課題であるとの回答をいただきました。

遠軽～上湧別間に必要な道路機能



総回答者数 N=6,452

遠軽～上湧別間においては、特に救急搬送時間の短縮、災害時の機能確保、道路の安全性向上が必要であるとの回答をいただきました。

5-4）第2回アンケート調査（案）

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

③第1回意見聴取（ヒアリング）の結果

➡ ○設定した政策目標等に対する意見を提示

④課題解決のための対策案

➡ ○対象地域における課題解決のための対策案の提示

第1回アンケート調査の結果

ヒアリング調査

ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から39件の回答をいただきました。

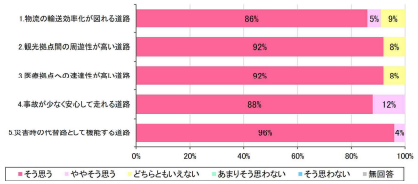
将来を見据えた地域の課題

項目	自治体	商工会議所 商工会	農協・漁協 森林組合	運輸	バス・観光	病院 消防組合
1.物流の輸送時間	○	○	○	○	－	－
2.観光の移動時間	○	○	－	－	○	－
3.救急搬送の時間	○	○	－	－	－	○
4.事故の危険性	○	○	○	○	○	○
5.災害時の通行止め	○	○	○	○	○	○

総回答者数 N=39

将来を見据えた地域の課題においては、特に事故の危険性、災害時の通行止めが課題であるとの回答をいただきました。

遠軽～上湧別間に必要な道路機能



総回答者数 N=39

遠軽～上湧別間においては、特に災害時の代替路として機能する道路、事故が少なく安心して走れる道路が必要であるとの回答をいただきました。

第1回アンケート調査のまとめ

○多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。
○特に、速達性の高い救急搬送、災害時の代替路確保、道路の安全性向上等について多くの回答をいただきました。

頂いた意見を踏まえ政策目標を設定しました

遠軽～上湧別間に必要とされる政策目標

- 安全かつ効率的な物流ルート確保による地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援
- 定時性や速達性の確保による周遊観光促進の支援
- 救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援
- 災害発生時の国道の機能確保

課題解決のための対策案

○第1回地域意見聴取で地域の課題、遠軽～上湧別間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような3つの対策案を設定。

政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	災害発生時の国道の機能確保
政策目標達成に必要な機能	○紋別港から主要物流拠点である苫小牧港、北見市～紋別市間の速達性が高い道路 ○線形不良区間や信号交差点を回避し、安全・円滑に輸送できる道路	○観光客宿泊拠点である旭川等の地域外から遠紋地域への連結性向上、地域内の観光地間のアクセス性が高い道路	○3次医療機関がある北見市、2次医療機関がある遠軽町までの速達性が高い道路 ○救急搬送時の安定性向上による患者の負担軽減	○災害時にも機能する道路 ○代替路の確保
配慮すべきポイント	○地域への影響　○環境への影響　○工事中の影響　○経済性			

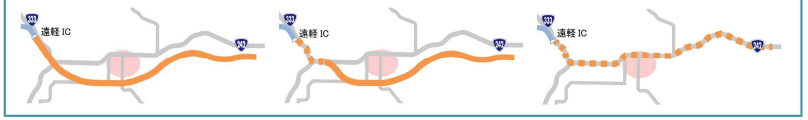
3つの対策案と整備イメージ

凡例
：市街地・集落
：現道
：別線整備
：現道改良

【案①】別線整備ルート
別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート

【案②】別線・一部現道改良ルート
別線整備・一部現道改良により、現道課題の解消を図るルート

【案③】現道改良ルート
現道を改良し、現道課題の解消を図るルート



5-5）第2回アンケート調査（案）

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

⑤対策案のコントロールポイント

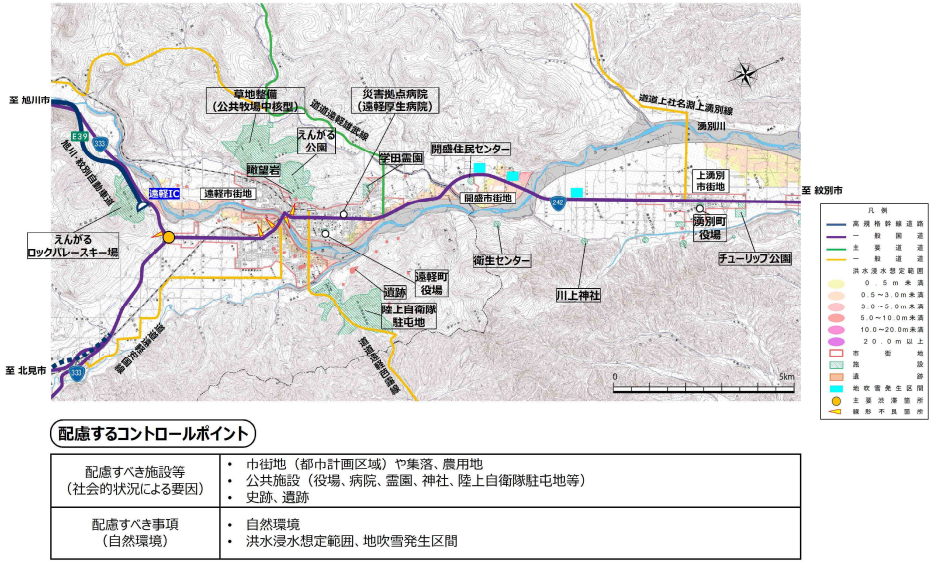
➡ ○対策案の検討にあたってのコントロールポイントを提示

⑥対策案の比較

➡ ○各対策案を提示

対策案のコントロールポイント

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、国指定名勝の瞰望岩等の自然環境、市街地や洪水浸水想定範囲等の課題箇所の回避を図れるルートを設定し、市街地へのアクセスに配慮します。

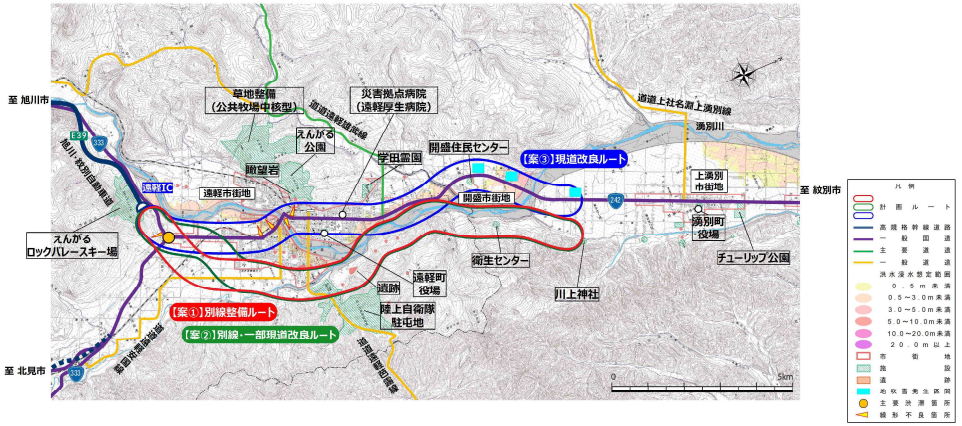


配慮するコントロールポイント

配慮すべき施設等 （社会的状況による要因）	• 市街地（都市計画区域）や集落、農用地 • 公共施設（役場、病院、霊園、神社、陸上自衛隊駐屯地等） • 史跡、遺跡
配慮すべき事項 （自然環境）	• 自然環境 • 洪水浸水想定範囲、地吹雪発生区間

対策案の比較

○政策目標達成に必要な機能とその他の配慮すべき事項を踏まえ、３つの対策案を設定しました。



案①：別線整備ルート （別線整備により、現道課題解消と時間短縮を図るルート）	⇒	• 線形不良区間や信号交差点を全て回避し、安全性・安定性が向上するとともに、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果が大きい • 災害時にも国道機能を発揮し、代替路の確保が可能
案②：別線・一部現道改良ルート （別線整備・一部現道改良により、現道課題解消を図るルート）	⇒	• 線形不良区間や信号交差点を一部回避し、安全性・安定性がやや向上するが、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で中位 • 災害時にも国道機能を発揮するが、代替路の確保は部分的
案③：現道改良ルート （現道改良により、現道課題解消を図るルート）	⇒	• 信号交差点が残り、物流拠点・観光地間・救急医療機関への時間短縮効果は比較案の中で最も劣る • 現道嵩上げ、防雪対策により、災害時にも国道機能を発揮するが、代替路は確保されない

5-6）第2回アンケート調査（案）

■第2回アンケートにおける調査方法および質問内容

⑦対策案の比較表

➡ ○各対策案の内容・効果・影響の比較結果の提示

対策案の比較表

			【案①】別線整備ルート	【案②】別線・一部現道改良ルート	【案③】現道改良ルート
対策案の考え方			別線整備により、現道課題の解消と時間短縮を図るルート	別線整備・一部現道改良により現道課題の解消を図るルート	現道改良により、現道課題の解消を図るルート
整備イメージ					
区間延長			約14km（自動車専用道路）	約14km（現道改良＋自動車専用道路）	約13km（現道改良）
政策目標	安全かつ効率的な物流ルート確保による、地域を支える基幹産業の生産性の向上の支援	輸送時の速達性	• 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（16分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（15分短縮※）が大きい	• 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（12分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（12分短縮※）がやや小さい	• 紋別港から主要物流拠点である苫小牧港の時間短縮効果（3分短縮※）、北見市～紋別市間の時間短縮効果（3分短縮※）が小さい
		輸送時の安全性	• 線形不良区間を全て回避（5箇所→0箇所） • 信号交差点を全て回避（30箇所→0箇所）	• 線形不良区間を一部回避（5箇所→1箇所） • 信号交差点を一部回避（30箇所→2箇所）	• 線形不良区間に中央分離帯を設置し、走行性を向上 • 信号交差点は現況と同じ（30箇所→30箇所）
	定時性や速達性の確保による、周遊観光促進の支援	周遊観光時の速達性	• 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が大きい（16分短縮※）	• 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果がやや小さい（12分短縮※）	• 観光客宿泊拠点である旭川市等の地域外から遠紋地域内の観光地間の移動時間の短縮効果が小さい（3分短縮※）
	救急搬送の速達性・安定性向上による、地域の安心できる暮らしの支援	高次医療機関への速達性	• 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（10分短縮※）が大きい	• 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（6分短縮※）がやや小さい	• 遠軽町から北見市の3次医療機関への時間短縮効果（3分短縮※）が小さい
			• 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい （遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：76%※）	• 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加が大きい （遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：76%※）	• 遠軽町の2次医療機関への60分圏カバー人口の増加がやや小さい （遠紋地域の60分圏カバー人口率 整備前：55%⇒整備後：64%※）
		救急搬送の安定性	• 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避し、搬送患者の負担を軽減 （信号交差点30箇所→0箇所、線形不良区間5箇所→0箇所）	• 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を一部回避し、搬送患者の負担をやや軽減 （信号交差点30箇所→2箇所、線形不良区間5箇所→1箇所）	• 速度の安定性低下を招く信号交差点、線形不良区間を回避しない恐れ、搬送患者の負担の軽減は困難 （信号交差点30箇所→30箇所、線形不良区間5箇所→5箇所）
	災害発生時の国道の機能確保	災害時の道路機能の確保	• 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能 （洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	• 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能 （洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）	• 洪水浸水想定区域、地吹雪発生区間を回避し、国道機能を確保可能 （洪水浸水想定区域4km→0km、地吹雪発生区間3箇所→0箇所）
		代替路の確保	• 全線別線にて整備することで代替路の確保が可能	• 一部現道を改良するため、部分的に代替路の確保が可能	• 全線現道を改良するため、代替路が確保されない
配慮すべき事項	地域への影響	家屋や土地利用への影響	• 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	• 市街地を回避するため、沿道家屋、土地利用等への影響は小さい	• 市街地を通過するため、沿道家屋、土地利用への影響が大きい
	環境への影響	自然環境への影響	• 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	• 山地部を通過するが、地形に沿った道路とすることで、地形改変面積を抑制することが可能	• 現道を改良するため、自然環境への影響は小さい
	工事中の影響	工事中の現道交通への影響	• 郊外部の別線整備のため、工事中の現道交通への影響は小さい	• 国道接続部で、通行規制や沿道利用の現道交通への影響が発生	• 国道の通行規制や沿道利用の現道交通への影響が非常に大きい
	経済性	経済性・概算事業費	• 別線整備の延長が長く、案②より経済性に劣る 約240～300億円	• 別線整備の延長が短く、経済性に優れる 約210～270億円	• 現道改良のため、用地費、補償費が大きく、案①・案②より経済性に劣る 約350～430億円

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

5-7）第2回アンケート調査（案）

■質問内容・回答欄

問１ 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のＡ～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所１つに○をつけてください。

項目	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	1	2	3	4	5
B 急カーブ、信号交差点の回避	1	2	3	4	5
C 宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	1	2	3	4	5
D 北見市の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
E 遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	5
F 災害時の道路機能の確保・代替路の確保	1	2	3	4	5

回答は返信はがきに記入をお願いします

問２ 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のＡ～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所１つに○をつけてください。

項目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5

回答は返信はがきに記入をお願いします

問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

次のＡ～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所１つに○をつけてください。

項目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地から円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
B 北見方面に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
C 道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5
D 高次医療機関に円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5

回答は返信はがきに記入をお願いします

問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入をお願いします

5-8）第2回アンケート調査（案）

・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下ください。
　なお投函は、令和○年○月○日（○）までにお願いします。
・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセスして下さい。
　旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）　道路計画に関する意見募集　Web回答用ページ
　URL　http://○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
　※網走開発建設部ホームページからもアクセス可能です。

QR
コード

アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払

網走局承認

000

差出有効期間
令和●年●月
●日まで
（切手不要）

0 9 3 - 8 5 4 4

北海道網走市 新町2丁目6番1号
網走開発建設部 道路計画課

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）
道路計画に関する意見募集係 行

見　本

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○印）

住所　〒000-0000 北海道　紋別 市・郡　遠軽 町・村

性別　①男性　②女性　　年齢：40 歳

職業　①会社員　②公務員　③農業　④漁業　⑤林業　⑥観光業　⑦学生　⑧主婦　⑨物流・輸送　⑩商業　⑪工業　⑫無職　⑬その他（　　）

■自動車を運転する頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日　②週数回　③月数回　④ほとんど運転しない　⑤運転しない

■国道242号遠軽～上湧別間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日　②週数回　③月数回　④ほとんど利用しない　⑤利用したことがない

■遠軽～上湧別間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）

①通勤・通学　②通院　③家事・買物　④仕事（営業・運送等）　⑤観光・レジャー　⑥その他（　　）

■前回の第1回目アンケートに回答しましたか（どちらかに○）

①回答した　②回答していない

旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）第2回アンケート回答欄

問1 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？該当するもの1つに○をつけて下さい。

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 道央方面や北見方面などの物流拠点への所要時間の短縮	①	2	3	4	5
B 急カーブ、信号交差点の回避	1	②	3	4	5
C 宿泊拠点、観光地間の移動時間の短縮	1	2	③	4	5
D 北見市の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	④	5
E 遠軽町の医療機関への搬送時間の短縮	1	2	3	4	⑤
F 災害時の道路機能の確保・代替路の確保	①	2	3	4	5

問2 対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？該当するもの1つに○をつけて下さい。

	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設など地域への影響が小さいこと	①	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	②	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	③	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	④	5

問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？該当するもの1つに○をつけて下さい。

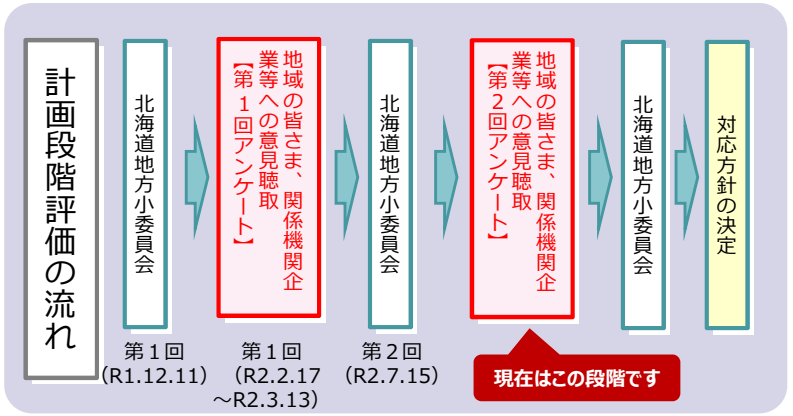
	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 市街地から円滑にアクセスできること	①	2	3	4	5
B 北見方面に円滑にアクセスできること	1	②	3	4	5
C 道の駅などの観光拠点に円滑にアクセスできること	1	2	③	4	5
D 高次医療機関に円滑にアクセスできること	1	2	3	④	5

問4.その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>
北海道開発局　網走開発建設部　道路計画課
旭川・紋別自動車道（遠軽～上湧別）
道路計画に関する意見募集係
〒093-8544　網走市新町2丁目6番1号
電話0152-44-6510

国土交通省

**安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。**

本調査は、オホーツク圏遠紋地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。
そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。
回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます）